

Ⅲ 自由回答結果

問 8 (区・組に入っていない理由) その他

- 賃貸のアパートに住んでいるため。
- 不動産会社に任せてあり入っているかどうかわからない。
- 車がないので会合とか行きにくい。
- 組ができていない。
- 伝統も大切だと思いますが、今の時代に合った方法を検討してみた方がいいのでは。
- 年のせい。
- 親が組に入っているので
- 現時点ではセカンドハウスのため。
- 親が入っていないので組外。
- 組は誘いがあったが区は不明。
- アパート住まい。(他 1 件)
- 親が組に入っているため、その後を継ぐということで、親に組のことは今のところ任せているため。
- アパートに住んでいて、区や組の話は聞いたことがない。

問 8 (区・組に入っていない理由) 区や組についての考え方

- 南箕輪村に長く住む者は、区・組には絶対入って居るべきと思っております。大事があった場合助け合いが必要だと思います。
- 全員が加入して助け合う心が必要だ。
- 付き合いや活動が面倒だとは思いますが、家を建ててずっと住むならば、地域の方との人間関係は大切だと思うので参加していかなきゃと考えています。
- 組に入らないのは、葬式等は業者によってとり行われ、組にお世話にならなくても行う事ができます。隣組のお付き合いもしないのではないのでしょうか。
- アパートの住んでいるとそういうお誘いもないと思います。別になくても良いんですけどね。
- 問 9 へという指示ですがあえて記入しました。実際私以外で困っている人たちがいます。(アンケートの記入の機会を与您にいただきありがとうございます。)
- 組費等を毎年払っているが何に使われているのか不明。お金を払っているだけで他は何もわからないため。
- 人との付き合いが希薄になってしまっている。回覧板を回すだけでも繋がりが生まれると思う。何か事があった時等大変だと思う。村から広報誌を送っているならそれなりに郵送料をもらうべき。
- 私は 68 歳になります。家庭は 66 歳の妻と娘一人です。年金も 60 万円足らずで、体も病気がちで働くこともままならず、税金の他に月 4,000 円の介護費は強制されても払えません。
- 区や組の活動は大事だと思う。今の時代近隣の方との付き合いが昔より少なくなっている中、区や組があることで少しでも付き合いの機会が増え、お互いのことを知りあえることで助け合えることも増えるのではないのでしょうか。また、防犯のうえでも役立つのではないのでしょうか。
- 活動に参加できない。
- 少し閉鎖的なところがあります。

- 今の住居にずっと住み続けるとわかっていれば、区や組に入ってご近所の方と交流をもちたい。
- 高齢になると区・組の仕事が負担に感じる。
- よくわからないが日々の生活が精一杯なので他のことは考えたくない。
- 一人暮らしの学生なので区や組のことをほとんど知らない。コミュニケーションをとりたい気持ちもあるが、どのように自分が動いたらいいのかよくわからない。
- ひとに聞いていることでは、話し合いの後の飲み会(お酒)が大変だよと聞き、集まりが多いと聞いていて大変なイメージです。
- いざという時近所で助け合えるから必要だと思う。
- 他地域の自治に対する取り組み方を知りたいです。
- 村づくり委員会は区・組の加入について真剣に研究討議したことがあると思いますが、足元からしっかり掘り下げた方策を考察して欲しいと考えます。非常の災害、地震等発生の際、地域として不加入者にどのような方法で地域としての連絡をするのか。
- もう年ですので何も言うことはありませんが、若い時には時代に合った住みよい生活ができるように皆さんで努力してきたと思います。
- 活動内容を存じません。
- まとまりがない。もっと年をとったらどうしようと思う。
- 仕方なく入っている。区費が高すぎる。旧態依然としたことが多すぎる。
- 一人で住んでいる人達は係が回ってくると大変。年をとってくると付き合いも面倒になってくるが、組の人たちのお付き合いは大事です。
- 同じ人に役職がくる。
- 区や組に入っていないとゴミ出しができない。
- アパートに住んでいるのであまり必要性がない。
- 行政の下請け的な要素しか感じない。配り物、連絡等。組の件数が多すぎ。時間的な負担が多すぎる。
- 住んでいる限りは区や組の活動に参加すべきである。
- これだけ価値観や生活スタイルが多様化しているので、金銭的な負担はもっと強制的にし、人的参加は出られない人にはお金で済むようにしてほしい。その分役や作業に出席した人への手厚いお礼をもっとすべき。
- 区への初回納入金がかかなり高いかなと思いました。収入も少なく母子家庭のため、半額措置などがあると助かります。
- 区で行う行事は楽しかったので続けて行ってほしい。
- 私たちの組にも組に入らない方もいますが、協力性がないと思います。
- 各係の手当について、衛生係、公民館係等大変な仕事にはもう少し区費をあげても手当をあげても良いと思います。
- 南箕輪村のような場所ではある程度必要。ただし、昔から住んでいる人と新たに入植してきた人とは区別する必要もある。昔から住んでいる人たちの中に入っていくのであれば区や組は必要かもしれないが、新しく入植してくる人たちが多く住んでいる場所では、行政が積極的に関わっていかねば「コミュニティ」は形成されにくいだろう。又、区や組があまりない場所から来る新植者にとって「区・組」はなじみがなく、その仕組みや方法に反発があるだろう。これについては地

区と行政が連携して説明を行い納得してもらう必要がある。区や組が行政の代わりにいろいろやってくれている面もある。それを踏まえたうえで行政は、区と組とどう関わるか考えていかないと双方に負担や猜疑心が芽生える。

- 私は岐阜の生まれですが、どこでも自治会みたいなものはあります。私も協力できることはするつもりです。
- 区費の集金が大変なので出来るだけ加入してもらいたいと思います。
- 新しく区や組に入った人が何もわからないのに、すぐ役職について大変そう。
- 区民の役職分担が多すぎる。特に日赤奉仕団の分団長は組のまわり番にすべきでない。
- 加入したいが介護や高齢で役職ができない。
- 役職が大変。(他1件)
- 消防の件などお世話になっている面もあるが、隣組に合わせて行動している面もある。
- 地域に根差したコミュニティを形成するため必要であると思うが、一人暮らしで会社勤めだと地域の活動に参加する時間をとる余裕とメリットがあまりないと思う。
- 区・組の加入金などどうするか問題があるのでは
- 住みよい所だと思っています。
- 金銭的、役職等大変と感じます。また区や組に入っていない人の村八分の言動を強く感じます。
- 家を建てたら加入する。
- 昨年から区費は親に組のことを任せていても別世帯ならば払うことになりました。組費もそのようにしていけばいいのではないかと思います。
- 子どもがいるので、近所付き合いはあったら良いですが、これから若い人たちは、面倒なことをきらうんじゃないかと思います。
- パーキンソン病という難病のため活動に参加できない。人々との関わりは大切に持ちたい気持ちはあるのですが。
- 病気になってからの私には、集まりの時のたばこはとても体に悪影響が多く組をやめました。多くの人に話してもなかなかダメでした。

問9 (区・組についての考え方 (区にも組にも入っている方)) その他

- 加入を周りが進められる組の運営にする。
- 強制的というかどうか分かりませんが、区・組に入るのがあたり前だと思います。
- 前提は加入として特別な理由がある時のみ本人に任せる。
- 区・組から抜きたいけど生ごみ、プラごみなど出すのに困るので、区から抜けることができないでおります。
- 1番と思うが・・・
- なるべく加入するべきだと思う。
- 区へは加入。
- 区・組は行政の末端組織だと思います。したがって村民である限り区・組への加入は当然だと思います。
- 1つの組について最も多い戸数で10戸位にしてほしい。組に集会所がなく各戸に集金が持ち回り、部屋の大きさ等に集金として困る。

- 強制的は良くないが地域にお世話になっているので協力金制度は必要だと思う。(衛生係とか作業とか)
- 以前組加入を推進した時がありましたが、会合にも出てこない人、時々しか出ない人、顔も知らない人等があります。加入をお願いする時には組や区に協力するということを伝えた方が良いと思います。強制しても結果が悪ければだめだと思います
- 持家がある人や永住する人は区・組に入るべき。
- 生活しているのである程度加入しなければならないと思う。
- なぜその金額が必要なかわからないのでどちらとも言えない。
- 加入することが望ましい。
- 加入の理解を深めていく努力が必要。
- 区の戸数が少ないとほとんど強制的に入らないとごみなどが出せないし、顔の認識もされてしまう。戸数が多いとわからないし入らなくても大丈夫と聞きました。地区によって変える方法もあるかな。
- せめて区に入るべき。役も回ってきて負担もありますが、最低限の協力はした方がいいと思う。ゴミ処理等個人ではやり切れない者もあるから。
- 事情による。
- 組への加入は自由としながらも入らなければ村八分の空気がある。
- 加入・未加入のデメリットをはっきりさせて本人にえらばせれば。
- 組への加入はしたくない。
- 永住者のみ強制的に。転勤族は本人の意思に任せる。
- 基本は全員が望ましいが、個々の事情もあり区・組との話し合いの上で決める。金銭的なものもあり。
- 若い人でも組に入りたがらない人が多い。高齢になってくると体力的にも難しい。係の仕事も多い。
- 基本は強制加入に賛成。でも事情のある家庭もあるので・・・
- 組に位は入って近所付き合いして欲しい。
- 自分たちが隣との中で孤立するのを知らないのでは？
- 出来るだけ区や組に入る
- 地域活動のための区・組の重要性を説明し、加入促進を図る。
- 区や組に入ると行事への参加、組の係や区の役員になるのが嫌だという意見が強い。組への加入はコミュニティを継続していくためには欠かせないものであるので、今後は区や組の係や役員の付役を減らす方法を考えてゆくべき。

問9 (区・組についての考え方 (区にも組にも入っている方))

区や組についての考え方

- 区については新しい人には見えない存在。
- 大変住みよい区であり組であると思っています。
- ゴミ、防災等加入・未加入に関わらず、関わらなければならない点があることを考えれば加入するのは当然である。ただ、区や組によって負担に差があったり、古いしきたりを強制されたりすることが加入しにくい原因になることは理解できる。

- 区、組等の役については、若い時は大変だと思いましたが、いろいろ勉強になりました。今は老いてきて、若者達に聴いたり、村報などで村の状態を知り得ております。
- 学生をはじめ、若い世帯の方々が村に増えています。「地域との関わり」を敬遠する若者は多いかと思われませんが、気軽に声を掛けたり、助け合えるような地域関係は望ましいです。区や組に入る事がその1つのキッカケになるのではないのでしょうか。
- 自分の区や組を大事に思っている人なら一人一人協力しながらひとつにまとまる心が大事だと思います。特に組のまとまり、これが先だと思います。
- 多少の権利は理解するが、全体的には無理がある。
- ある程度強制的な加入が必要だと思うが・・・
- 組にすごい人がいていじめにあっている！（でも誰にでも話すという事ができないし）言えば言ったでよくないし、言わなくていけばそれも。これだけ書けるようになったということは月日年数が経ったのでしょうか不思議がいっぱい。
- 近所の方々にとても良くしていただき、こちらに引っ越してきたばかりの頃は特に心強く感じました。組の助け合いの心はとてもありがたくその中で子育てできることはとても良いことだと思っています。しかし、お葬式の手伝いなど、仕事を休まなければならない事は負担に思います。
- 区や組に入っていない方もおられるようですが、今までずっと加入してきて特に負担に感じることもないし、地域のつながりということで入ってもらうのがよいと思う。しかしもっと年をとって自分の役割が勤められなくなったらという不安はあります。
- 区の組織は村政の裏税金の徴収？区に加入するのに数万円と酒等の納入、そして年間1万数千円の区費、そして村政が行う土木、農事等の係の組織等々、又公民館の建設負担等・・・地方の特長といえばそれまでですが、金銭と人的負担を考えれば、一般的な考えとして、居住も組織への加入も考えさせられるのが事実では。
- 組に入ると負担が多いためできれば今からでも出たいです。
- 近所の付き合いが大切で、今後高齢化社会になってゆく。組・区を通して助け合いが必要となってくる。
- 組戸数が多いですが、まとまりが良い。
- 区や組に加入するのは大切だと思います。
- 今の若い世代で組の付き合いは難しいと思う。区には入った方がよいと思う。
- 消防費、ゴミだし、村報等、税金を使うものに対しては加入しない人から徴収するべきと思う。家族制度がくずれ、家の後継ぎがない家が増え、老人が多くこの先組をまとめていく事が大変と思う。10年先、組に入れない人が多くなるのではないか。
- 区の中に最近高層アパートができて入居者が増えていますが、なかなか区や組に加入してくれません。区や組の規約を見せて、粘り強く加入を進めます。
- 事情で係にはなれない場合でも地域に暮らす以上は、区費組費の負担は必要と思う。
- 未加入の家庭はその土地に永住しない人が多いので、地区の集まり(防災や祭り)に参加する様呼びかける。高齢化が進み区の役員のなり手がなく、選出に苦慮しています。第2世代も同居している家庭もあるが、お互いに親離れ、子離れが出来ず、第2世代が独立できていない。(独身が多い。40歳すぎても独身、男も女も)
- 人間であるなら人間社会を形成する一員であるべきと思う。

- 学生を含め全ての村民が区に加入すべき。道路、街灯など区として負担している以上は全ての人に平等に負担していただくのが良いと思います。
- 区の役員ができない者は区から出て行けとまで区長から言われたことがあります。区に入ってから50年も経ちますのでなかなか決心ができないでおります。
- 年齢や介護、自分の将来を考えた時など以下の不安があります。区・組のあり方について、組に入っています。実際役や身体(作業など)的に無理な家庭がありみんなでカバーし合っている。(このことは良いが)みんな重複して役をもち、組費・区費を納めているが区外の人も同じ村や区の扱い。我が組でも抜きたいと実際言っている人がいる。例として、大芝林の作業等は件数に関係なく毎年2名出さなければならぬが少ない組員に加え、作業に出れない家庭の替わりを行っているので、当然と思う反面自分たちも大変になってきています。はたして作業にあのような人数が必要か？例年通りではなく人数回数を考える時期に来ているのではないのでしょうか。
- 区や組は必要なものだと思います。
- 協働作業を通じ区や組の方と年齢差(世代間)を越え、顔見知りになり又連帯感が生まれる。災害等困った時はお互い助け合える存在になる。
- 隣近所、地域のつながりを考えると区や組は必要であると思います。そしてそこに住むからにはそれらに入るべきだと思います。子どもがいれば学校とのつながり(行事等)は区や組単位であることが多かったですから。災害等でもそういう単位になりますね。
- 組や区があるから村が成り立つ。村の住民になるための義務だと思う。
- 加入してなくてもゴミステーション利用などしている人がいます。無責任な利用につながるよう、学生や単身者向けの特別加入の枠もあると良いと思いました。(役や当番なしの)
- 同じ地域に居住しているのに負担金等を払わないのは不公平だと感じる。
- 強制はできないけれど・・入区、入組は当然。
- この村に住んでいるからには地域のことに協力すべきであるし、何か事があった時には区や組の協力は欠かせない。組に入っていないことによる人とのつながりが希薄になっていってしまう。
- 組加入を強制するのはどうかと思いますが、不公平感はあるのでその辺を何らかの形で解消する必要があると思います。
- 高齢家庭が多くなり、組の役ができない又その他に関わりたくない、理由は様々だと思うが無理のないよう理解し合うことが大切と思う
- 区・組に入っていないのはなぜ？
- 全ての人が区・組に加入すべきだと思います。
- 現在組に入るのは南箕輪に住んでいるのであれば入るのは当たり前と思いますが、前から住んでいる人たちにうちの組は困るというようなことを聞きました。昔から住んでいる人の中にはよそ者という考えがあるようです。そんなことをしていると老人ばかりの村になってしまうと思いますので、若い人が入ってきたら優しくしてあげてください。
- ただし、アパートにお住まいの方は考慮が必要と考えます。しかし、ゴミ等の共同的な作業は参加させるべきです。
- 最低限入ってほしい(負担して欲しい。)ものもあるので、そういったもののみ加入する制度もあってよいのではないかと。

- 区の役員について若い者は他へ出ていき役員をやる者が少なくなっている。(死亡や高齢化)
- 組についてですが、入会費がそれぞれ違うと思いますが不公平のないよう村内一律を希望します。
- 法律のことは知らないがお互い助け合って暮らすには区や組に入ってもらわなければならない。
- ゴミ問題、河川や道路清掃、防犯などに全員参加すべきである。(アパート住まいや老人を除く。)
- 義務として当然加入すべきだ。
- 組のことはいろいろに思いますが、災害があった時等近所は大事だと思います。活動は全部出ることにはできないけど、区・組はあった方が良くと思います。
- 但し、防災関係や生死に関わることなどで、コミュニティのお世話にお互いなることを了承しあい、最低限で参加、費用の分担(必要があれば)を働きかけていくことは大切だと思います。
- 行政主導で進める。
- 戸→組→区→役場へとしっかりつながれば良い村かな。
- 考え方はそれぞれですが、私は南箕輪村に住むのだから、そこで生活していくのに、やはり区や組に入り交流があった方が村民としての自覚が出ますしプラスにもなると思います。
- 義務教育を受けている子どもの家庭は区や組に所属しているが、地域行事等加入・未加入の区別がなく良いのでは。
- ごみの収集や地域の活動は区費や組費から賄われるはずだから、未加入の人たちは本来自ら負担しなければならない費用を負担せずにいることになりフェアでない。
- 同じ区でも組によっていろいろな違いがある。各区の違いをはっきり分かるようにして、選択、変更できるようにする必要があるかも。
- 入らないといけない雰囲気がある。組に入らないとごみは出せない?など不安があった。
- 住民登録したら自然に組に入る仕組みを考える。
- 遠くの親戚より近くの他人というように、日々ご近所で助け合っているこの地域は素晴らしいと思う。
- これから自助と言っている分、自分たちのことや自分だけと言葉だけでなく、区または組に入っている常の付き合いをしていなければこの家にだれがいるかさえ分からない。災害が起きた時でも助けようがない。
- 役割が困難な状態になっている。当事者でなくても常に協力していく姿勢が求められていると思う。
- ご近所づきあいは大変ですが、いろいろなことに対しての情報が入手できるので良いことと思います。
- 県外出身でこれまで地域の係をやった経験も少なく、わからないことが多い。組長が中心になっっているような情報を提供して欲しい。
- 区や組に入る時お金がたくさんかかりびっくりしました。若いときだったので工面するのも大変でした。現在は地域の方々とつながれてよかったと思っていますが、もう少し入り易ければいいと思います。
- 消防法についてももう少し重く考えていただいた上で、できれば自主的にきちんと加入なさるべきだと思います。

- 県内で若い村と言われていますが、区単位でみると高齢化が進んでいます。若い者が一緒に住まないのでもいつまでも区の役をやっていかななくてはならない。いつまでできるのか先が心配です。
- 区・組に全員参加は理想です。けれどアパート、借家などもあり・・でも、所帯持ちであったら、加入は基本で義務だと思う。賃貸マンションの息子夫婦(松本市)も組長の番が来ました。家族をもったら責任です。
- 区費等の用途について明確に示し加入について進めていきたい。
- 大きくなった組を分ける時は組に一任しているようですが、何戸以上になったら分けるなど決まりがあると良いと思います。
- 子どもがいるので組に加入していますが、子どもがいなければ組に加入しなかったと思います。
- 区・組員としての自覚をもって生活し、区・組の人々とコミュニケーションをとり、村民としての自覚やプライドを持ってほしい。
- 区や組に入るのは当然で、役場で転入の際に指示すべきことである。
- 住民の少ない区なので役員が全て回ってくる状態でとても大変である。
- 区・組に入っていない人も暮らしていく中での活動(道・水路の清掃、ゴミ当番等)はするべきではないか。
- 地区で生活しているので区・組に入るのは当然とは思いますが、役職が大変である。
- 勤務の都合上住んでいる人もいるかもしれないその人に、強制的に加入は無理だと思う。しかしその土地に住んで世話になっているからには加入すべきであり、村や区は加入を進めるべきである。しかし、高齢者は組の役もなかなか億劫ではある。
- 生活に密着した組織、隣近所協力し合うことでより良い生活環境を維持することができると思います。
- 行事が煩わしい。
- 区・組のメリット・デメリットを明確にし運営する。
- 部落のしきたりや務めをしながら友人ができて、隣近所の付き合いができる。
- 日常には何不自由ないような社会生活であるが、非常災害が発生すれば個々ではどうにもならない。防災等を考えて精力的に、村や区が区・組に加入を督促すべきであると思います。村も入村の折には深く指導をすべきであると思います。
- 引っ越してきた人などは、近所の付き合いなどがあれば近くで事故や事件、家事などがあつた時協力しやすいと思います。区や組の運動会や新年会にも参加すれば親睦が深まり良いと思います。
- 一人では人間生きていけない。ゴミ一つとっても近所の世話になっている。(村の仕事だと思っている。)
- 組が多いと何かと問題があるので、せいぜい12~13人くらいが良いと思う。
- 近隣とのつながりも生まれるので加入が好ましい。ただ、未加入者に対しても何らかのつながりをもつようにすれば加入者も増すのではないか。
- 区や組のつながりは大切だと思う。
- 人と人との交流のできる一番身近な集まりだと思っています。お付き合いが重荷にならぬよう話し合い、少しでもできることは助け合い声をかける場であってほしいと思います。

- 年をとってきて若い人が家にいないとか、事情で入れない人を除いては、区や組に入って皆さんと交流することは大事なことだと思います。
- 強制的という言葉は好ましくありませんが、家庭があって地域への参加があって仕事ができると思います。今は個人が優先されていますが、日本という国に住んでともに生きていく以上、基本中の基本ではないでしょうか。
- 中込の世帯数で組まで必要ないと思います。
- 区は良いが組に関しては、昔のように家族ぐるみでのお付き合い、区の行事にしても「若い人がすれば・・・」と年配の方がいい、自分の家のお子さんがいても出さず各家庭が家族みんなで協力していく体制がないような組だったり、区の大きい役が回り番で来ると自分の番でも「年だから」とのがれ、(まだ 60~70 の人が)「若い人！若い人！」と負担を押し付けて来るような組だったら入らない方がいいと思うから、やはり村民全員が考えていかなければいけないと思う。入りやすい雰囲気をも！
- 区の行事は若者でも参加したがるようなやり方を考えてほしい。(今の行事内容は先輩幹向きになっている。)
- いざという時助け合える関係があるのは安心できる。
- 活動が形骸化している。活性化が必要。
- 他県から来ましたので地区ごとの仕事や役職が多いのに驚きました。最低限の協力ごと(ごみ関係など)は分かりますが、昔ながらの農家の付き合いとごっちゃになっているのでしょうか。南箕輪は若い人の流入が多いのでトラブルが出てくるのでは。
- 未加入者も区費などは加入者と同様の負担をすべきだと思います。老人クラブは必要だと思う。老人クラブなどの設置などに積極的に関与、指導して欲しい。
- 組外の人がいるのには驚きました。昔はそんな人はいなかったのに。組に皆入り、隣同士仲良く暮らしたいと思います。
- 昔と違って皆を強制的に区・組に加入させてもいろいろがうまくいくとは限りません。入っていない人には行政がまとめ役となってまとめてほしいと思います。生活が多様化している今日では、区・組の本来の意味を理解するのは、人によって差がありすぎると思います。難しい事柄です。
- 行政上のメリットはあると思うが、人とのつながりがあれば区や組に強制的に加入させるのは前時代的だと思う。加入したくない世帯をフォローできる環境は必要だと思う。(自分自身は区・組への加入で嫌な事は今までありません。)
- 南箕輪村に住んでいるのであれば区にも組にも加入すべきである。もし加入することがいやなら南箕輪村から出てもらう。
- 私の組はお互いを良くしているので私の組に居住する人は強制的に加入すべき。そのためには組員の互いの助け合い、また理解することが大切。
- 組費や区費が高すぎるし、その金額を消化するのにつまらないことにお金を使いすぎていると思う。
- 共助のために絶対に必要。
- 一人で暮らしている。体も弱い。役職も廻って来る。区から抜きたい気持ちです。
- ゴミの収集や地域との結びつき等を考えると加入した方がいいと思うが、係になると負担もあり独身や一人暮らしの人には大変なのではとも思う。

- 仕事と育児で忙しいのでなかなか活動に参加できないし、アパートに住んでいるので近所づきあいが全くないので。
- 組に入っている人は役が回って来る等々負担になることが多いが、組外・区外の人はないので不公平である。役とは隣組の役とか区の役等々
- 目的と仕事内容をはっきりさせること。
- 老荘会は入りたい人だけにして。年齢になると入会希望有無にかかわらず名簿に載り会費を出し、雑布を出します。特に回り順に当番、係がきます。気が重くなります。入会希望をとって強制しないでほしいです。気を使わずに静かに暮したいです。
- 昔から隣近所で助け合って生きてきたその習慣をいつまでも見習っていきたい。
- 組へ加入している人ばかり負担が大きい。区(村)の行事、ボランティアは組とは別組織にすべき!
- 居住している限り何事につけお世話になるから。
- 村に永住する人は区・組共に加入すべきではないかと思います。でも、組に関しては葬儀等手伝いもない時代になり、助け合い関りあうことがほとんどないことを考えると、必要性を感じないといわれても使用がない。話し合ったけれど、正月の顔合わせも私の組はなくなりました。
- 区はまだしも、組は崩壊の寸前である。自分の組は高齢者が多く、又、80歳以上で一人暮らしの世帯は役を免除している。又、逆に若い30歳以下の世帯は1世帯しかなく、組に馴染めないでいる。このままの状況が進むと、行政の下支えもできない組織となってしまう。マンションや集合住宅に住んでいる若い世帯をなんとか村行政に積極的に参加したくなる雰囲気づくりが必要。従来の区・組の役割を捨て、新たな村行政に直接参加する形の存在にしてはどうか。
- 区・組に入らないという人は、良いことではない。子どもの連絡などに困ります。
- 住所を移す手続きの時に役場の方が教えてほしいと思う。近所の人に言われて区に入ると後々トラブルになりそうですが。若い人は区・組の事を知らないので一言教えるなりした方が良いでしょう。
- 役職(係など)が多すぎる。人数の少ない組だとあつという間にまた回ってくる。負担が大きい。
- 負担、サービスは平等に。
- 住民となった時に村から区や組に入るよう助言をした方が良いでしょう。
- 高齢者は組長などの仕事ができなくなると思う。
- 区に入ることは大半があまり関心を持たない。
- 区の行事、組の各係行事等は、組にお世話になっている以上、進んで参加するべきであると思う。
- 区・組の必要性は感じないです。区、組には現在入っていますが、今世の中の区・組の金銭的負担が多大になっていると思う。また、若者の村外移住が多いため高齢化し、あと何年か後は村が管理するようになると思う。
- 仕方がない場合(近くに他の家が無い等)以外で区や組に入っていない家の方が有利ではないと思う。消防、防犯など少し関わってほしい。
- 現在のままで良いと思います。
- いろいろな事を皆で助け合う為には、組織に入って行くべき。一人では生きていけないと思う。

- 区や組に加入することは自由だが、未加入の方が加入している人と同じようにごみを出したりするのはどうかと思う。加入している方は掃除や管理もしているから・・・同じなのはどうかと思う。加入しているがお付き合いがないというのもわからない。
- 地区の団結と発展のために必要。
- 不満(役職の押し付け)があり出来れば辞めたい。
- 区や組は必要だと思います。私は昨年から南箕輪村に来て区・組に入りましたが、わからないことばかりで組の人や周りの人に支えられながら生活しています。組の大事さが身にしみました。
- 自由であるが防災、福祉面で近所にお世話になることがあり、加入するようにすすめていく。
- 加入未加入は本人次第ですが、区や組は大切だと思う。これから何十年と暮らしていくならなおさらだと思う。何かあった時や地域の行事など様々な場面で交友や助け合いができるのは心強いし良いことだと思う。
- 区費が高い。もっと下げても良いのでは。
- 役が多くて大変。出来てもできなくても順番で回ってくる。
- 行政の代行かがあやふや過ぎる。
- 区や組への加入は個々の自由だと思う。役など煩わしいことが多く本来組に入りたくない。
- 区や組に入ってお互いに楽しく助け合い過ごすべきです。現在は農家だけでなく、サラリーマンなど普段に顔を合わせる人が少ないから。
- 転入者に対してある程度窓口で加入を指導したらどうか。
- 区や組に入るのにもお金がかかっていて、そのお金がゴミステーションや子どもの学校行事などの資金になっているのなら、入るべきだと思う。入っていない人からすれば公平感がない。親が組に入っているからと言って別世帯で家を構えている方も同じように区や組に入ってほしい。
- 役員等になるのは大変
- 区や組に加入すると役員が回ってくるので、働いている方や、役員などをするのが苦手な方は大変。
- 新規者は入りづらい。関心がない。今の世の中の冷たさから考えても面倒なだけ・・・と思うと新しい人は厳しい。
- 区へは最低加入すべきである。
- 地区の方々にはお世話になることが一番多いと思われます。やはり、お互い様の気持ちで生活することが大切だと感じ、未加入者の方も何らかのお世話になっていることを考えて加入して欲しい。ごみ収集のこと、地区作業のことなど。
- 私共の組は24戸という大きな組です。ついこの間まで回覧板も半分回っただけでお知らせの事が終わってしまっていることが多かったです。組長さんのご配慮で半々に回していただけるようになりましたが、それでも多すぎて何かするときにはまとまりがなかなか大変です。せめて2組、できれば3組に分けていただければ助かります。
- 地域で人との関りをもつことで一体感、連帯感が生まれ、精神的にも経済的にも安定した生活ができると思われるし、健康も保てると思うからです。
- 私共は南箕輪に住み始めて5年過ぎました。その時から毎年何かの役を受け続けています。役は当番制なので良くわかるのですが、30年住み続けている方々と比べられても・・・と思いました。妊娠、出産もあったりして大変な時期もありました。面倒な印象が今の若い方たちには嫌

がられるのではないかと思います。区を活性化するためにも新しく来た方たちに急に押し付けるのは逆効果だと思います。

- 区には必ず加入すべきだと思う。
- ご近所の方々と交流があると安心感がある。特に子供が小さいときは何かとお世話になったり、困った時に頼りになります。日頃勤めに出ているので定期的にあるお花見や新年会、スポーツ大会での交流は楽しく知り合いも増えてうれしい。祖父母とは別に暮していますが子どもがご近所のおばあさんと仲良くしていただきありがたく思っています。
- まとまりのある組づくり。
- 年々高齢者のみの世帯が多くなってきております。配布物や係などなるべく省略していただきたい。
- ほぼ強制だと、ただ地域の人と人とのつながり。
- 私も居住してからは区・組に加入しました。はじめのうちは戸惑いもありましたが、地域の在り方かなと、今では行事の大切さを実感しています。
- 区や組に入らないと自由の身ではあるが、人と人のコミュニケーションも少なくなり孤立した生活になるのではないか。
- 地域に長く住む人は権利だけを主張するのではなく、義務を行うことを忘れないようにしないと協調性を欠き孤立してしまいます。明るい地域社会を作るためにはそのような人々を作ってはいけないと思います。
- 皆で協力し合うことが大切と思う。
- 付き合いが難しい世の中。話し合いが大切。
- 強制的・・・という言葉は強く感じるが、普通に入るのが当たり前だと思う。
- 現状で区や組に入っていない家もあるが、区や組の仕事は行っていない。区や組も本当に必要なのか考えるべき。今、区や組に加入している人にはデメリットしかないのでは。
- 区や組に入っている人と同様な金銭的負担をすべき。条例で規定し運用すべき。
- 強制的に加入しなければ隣に誰がいるかわからない。区や組のまとまりがつかなくなる。
- 生活のためには区・組は必要な体制となっている。全員強制的に参加すべき。未加入世帯がいることは不平等であり、社会的責任を果たしておらず罰せられるべき。
- 組は大きな家族のようなもので、助け合うことが大切な老後につながるような気がします。
- 組に入っていないと淋しいが、高齢と介護で役職ができない。どうしたらいいのか？
- 区・組はお互いに助け合い協力し合って暮らしていく組織だと思います。そこで暮らすのであれば地区の人たちと交流をもち、孤立無援の生活をするのではなく、家から一歩出れば、村・区・組のお世話になっているわけですから加入すべきだと思います。
- ①組の役を逃げて②昔からの人と新しく加入した人とのギャップがすごい。
- 区や組に入った方が連帯感が強い
- 子ども村に住んでいる限り区や組には入るべきです。
- 助け合い、支援は隣近所が大切。「村」は付き合いを大切にしたい。
- 公平にすべき。

- 転入時に区・組に加入することを条件として許可することを徹底してほしい。条件に沿わない者は家を建てさせないくらい強い姿勢を望む。
- 強制的な強いものではないが防災等あらゆる面で区・組には加入した方が良いと思う。
- 昔は組などはまとまっていたが、近年は自分勝手な人がいて昔のようにまとまってほしい。
- 区・組に入った方が連帯感が生まれる。
- ご近所の方などに助けられることは沢山ある。災害時には組や区の方に大変助けられた。
- 役場からの依頼が多く、区の役員が反強制で割り当てられるのはおかしい。
- 組に入ることは住民の基本
- 転入時に役場で区・組への加入を勧められた。村、区組の業務、サービスの関係や役割分担等、差や違いがよく分からないままである。
- 区や組に入っていることで地域のつながりが保て、災害時の協力がスムーズにいくと思います。子どもにとっても良い環境。
- 年代、世代間の交流が図れて地域の活性化で良いと思う。ただ、必要以上の拘束は負担に感じる。(組内の葬儀など)
- 引っ越し後3年ほど未加入でした。(付き合いや必要性に疑問があったから)子どもが保育園に入る前に不具合があることを教えられ(配布物、子どもの行事)躊躇した思いがあります。
- 組に入ることによって隣近所の付き合いができる。
- 区・組に入ることは当然と思っておりますが、時代が変わり入らない家もあり寂しいことです。
- メリット・デメリットいろいろありますが、お互い助け合って暮らすことが大事。
- 隣同士助け合っていくのが村・組の良い所
- 今後ますます核家族化する中、近隣の支援協力により安心・安全な生活基盤が必要と思う。そのためには組織の運営に積極的に参加すべきである。(役員も全員で)
- 仕事によっては、常会作業に参加できない方もあるので本人の意思を重視すべき。度重なる勧誘はいかがなものか。
- 新たな団地についてはまっくんバスも通らない、除雪もない、公民館が遠いなど不便が多い。(元からいた人が尊重されている)
- 組に入っていない人の扱いがおかしい。
- 強制的でわずらわしい。
- 村、区の行事に参加は難しい
- 古いシステムであるため、今後の地域社会のシステムへ転換する必要がある。地域社会への義務は果たすべき。
- 人と関わってコミュニケーションをとって生活していくことは大切。
- 行事、催事が惰性で続いているように思う。
- 村民の業務は減らしてほしい。
- 強制的には無理があるが、説明し説得する機会を作ってほしいと思う。
- 役職が多いため出来れば抜きたいと思っている。ゴミ出しが困るので仕方なく入っている。
- いざという時に「力」になり易い。話す場が多くなる。
- 未加入者からの負担を求めるべき。(出不足等)

- 本当はそういうことなどは、その家の事情等もあつたりすると思うので、加入したくなくても周りがうるさく言ったりすると仕方なく入らなければということになってしまうと思うので、自由にした方がいいと思います。入らない方がやっぱり楽で気持ち的にも違うと思う。
- 組に入ると色々係があり(10 位い)運動できないお年寄りが多いこの村で負担が多すぎる。係ももっと縮小して、85 歳以上は免除してあげるなど方法をとってあげたらと思う。
- 村内もしくは区内にいるかぎり多少でもお世話になっていると思います。
- 80 年以上住んでいて村や区の変わり方に驚くばかり。小学校時代に植林した大芝の林を大切にしてくれている。村長さんありがとう。村の名義を大切に。
- 組で料理講習会や冬場は手芸等をしておりませんが、JAの講師の方に来ていただいておりますので、組の人たちのコミュニケーションにも大変いいと思う。
- まとまりのために。
- 未加入者が加入しやすく生活改善等をする。区により加入金にばらつきがあるので、多少は行政から加入金補助をしたらどうか。
- 村にすんでいるので、協力をしていただきたい。区、組に入っている人だけだと戸数も、人員も少ないため、入っている人の負担が多くなると思います。
- 防災・災害発生時、高齢化の進展・独居者の増加、若い夫婦の子育てなど、地域(区、組)によって一定程度強制的に組織化することが、これらの現象に対応しうる。
- 役職が回って来るのが早いし、付き合いが面倒であり、年を重ねるごとに億劫になり、抜きたいと思うことがあります。
- 村内にいる限り加入すべき
- 今は両親が組の会合や、当番などやっているので、あまり自分にはかかわりが無い事のように感じている。いずれ自分が積極的に関ることになるとき、考えなければなあとと思う。
- 村の活性化のために区や組のまともは重要であると思います。
- 転居してきて組入りをし、近所付き合いを気軽に出来るのに長い時が必要でした。農業主体の行事などの参加になじむ努力が重荷でした。(大芝の森の下刈り、春の枯れ芝土手焼き、水路掃除、道路改修等々で参加強制的)()内は最近行わないので安堵しています。村→区→組は非常時、災害時などの連絡網に必要と思います。役職は少なくしたい。
- 金だけで解決できない。地域の協力や支援が生活の中でどれだけあるか。自分だけの身勝手では。義務と権利をどのように考えていくか。高齢者の家庭が増えるので自然と必要となって来る。
- 昔からのことで当たり前だと思っていた。
- むらづくりには市町村も大切だが、その基盤となり、生活と密着した単位である区・組の活動が重要かと思えます。
- 地域住民や近隣住民との関係づくりのためにも大切なのでは。
- 区は必要であると思うが、組については、必要だが各係等が生活のうえでネックであると思う。
- 今は区の行事等あまり参加することがないので役が回ってきても困ることがある。組の皆さんとも年に1回新年会に会うくらいで組の加入も自由の方がいいと思う。
- 区や組に入らない人が多いのは、村(行政)の指導力が足りない。
- 区や組の必要性が感じられない。区や組に入っていなくても必要最低限のサービスが受けられればそれでいいと思う。

- 区や組は自治的な活動が多く、自ら生活を守る取り組みが多く、参加しないことは他人にその分を押し付けることになる。
- 子どもがいれば子ども会などで世話になるので、お互いに助け合う事が必要だと思う。
- 高齢者社会が進む中で身近な近所の助け合いが必要。
- 加入していた方が村としても本人にとっても良いことと思うが、古い組に入ることは無理の面も生じてくる。長い時をかけて理解していきたい。
- 今まで通り助け合いの人間関係は区や組の一員となり、これからの若い人たちにも和の心を受け継いで欲しいです。区や組には必ず入るべきだと思います。
- 新に南箕輪に住む人にとっては、区の必要性等理解してくれる人とそうでない人の価値観の違いがあると思う。組に関してはもっと理解できないと思われます。
- 村に住むのなら区や組に入ってつながりを持つべきだと思います。
- 区・組に加入して活動するのが大事なことであり、周囲の人が協力を推進して加入をお願いすることが大事である。
- 区・組にはいろいろな係があり、住んでいる以上は協力すべきと思ってはいても、はっきり言えばやりたくない係又は自分には荷が重い係もあり、苦痛を感じることもある。それを案じてしまうと加入が重く感じる面もある。
- 組が大きくなりすぎているので心配です。
- 必要な時だけ集うようにすれば良い。
- 災害等があった場合等区や組に入っていないと区、組の役員はいろいろの面でそれを把握するのが難しいと思います。また、その地区で生活するなら地域の行事等に参加して顔見知りになることが大切です。②に丸をしましたが、ある程度強制的に加入すべきと考えます。
- 組内の交流がスムーズに出来るが、昔より近所の交流は少なくなったと思う。
- 人間一人では生きられない。
- 伝統を守りたい。
- 各1人1人が目的を持ち心から協力して成果につなげて行けたらと思います
- 高齢者に対する配慮。
- 加入の利点をきちんと説明してから加入してもらおう。
- ある程度強く加入を勧めても良いと思う。
- 必要だと思う。
- 不慮の災害時等、区や組に入っていないとどうしても近所の付き合いもなくお互いに助け合わなくてはいけないのですが、コミュニケーションがうまくいかないのではないのでしょうか。
- 70歳以上になると、公民館に会合に行ったり川の掃除等大変だと思う。

問 11 (むらづくり活動への参加) 思いつく具体的資源

- 景観・牧場
- 大芝高原の味工房のような地域密着型の手づくりな店。
- 大芝を売りにハンバーグなど(今もしているのを)続けてうんとアピール。
- 農薬を使わない米、野菜づくり
- 大芝高原

- 南箕輪村を全国に誇れる観光地にするため、大芝高原のセラピーロード沿いに四季折々の変化を楽しめる花、樹木を植樹して観光客の誘致につとめたらと思います。
- 現在家庭で排出される生ごみを組織的に回収し、肥料等に加工している地域もありますので是非村全体で検討してほしい。(現在自分の畑に埋め込んでいる状態です。)家庭用生ごみ処理機は購入していますが、加工能力が低くて使いものにならず。
- 大泉所ダム周辺、ハイキングコース、釣り堀等
- 今後も村づくり活動は、経験や知識を活用して年寄りも何らかの形で参加していきたいです。ただ、話している中でもアイデアが生まれたり、ヒントが出たり隠されたりしているかも知れませんね。
- 森や林などの自然。村内または村外へのバスなどの交通手段。
- 南箕輪という名称(南箕輪ブランド)、地形(飛地があることや居住地域が狭い利点)の利用。
- 一時的なイベントより常に人々が接する部分、自然の整備など。ガードレールを木製にしてほしい。(安曇野市のような)
- 大芝高原。子育てにやさしい環境・援助。
- 農業の高齢化に伴う農業の継続者を募集して土地を荒らすことのないように。
- 資源は野にも山にもたくさんあると思います。薬草にも出来るものはたくさんあります。山にはきれいな色をした葉が多くそれも資源としたらどうでしょう。
- 当村は小・中・高・大学と他に例が少ない村です。更なる教育向上を目指す村であってほしい。また、高齢者と若者が交流する場をもっと増やすべきです。
- 自然環境と自然景観を活用するに当たり、あまり開発しすぎないでほしい。
- 農地と宅地のバランスを考えながら宅地を増やして住宅を増やす。
- ⑭についてですが、今後高齢者のみなさんに講師になっていただき、区民の方々に教えて残していただきたい、いずれは村内全体に広げたい。
- 現在の車社会では子どもの遊ぶ場所がありません。ちょっとしたところで遊んでいると危ないから・・と。体を動かし少しでも健康にと思ってもなかなか・・保育園、学校の体育館、園・校庭をあいている時間の開放。子どもが遊びの中から学ぶ発達に合わせた遊具の貸し出し(砂場ひとつだって貴重でなかなか遊ぶ機会がありません。)等で子どもが伸び伸び遊ぶ場の提供をお願いします。お年寄りの昔の遊びを今の子供たちに教えてくれる機会、お年寄りと遊ぶ機会があるとうれしいです。
- 村有林。他地区に比べて若者が多い。
- 村内の住民に限定しないで近隣市町村の人材を流動的に活用していくことも活性化につながると思います。
- 天竜川
- 大芝とゴルフ場を中心としたレジャー施設を充実させて観光客を集める。
- 空き店舗、近隣市町村、信州大学、子ども、国道 153 号
- 米・野菜・果物、大芝高原
- 自宅周辺には農地がたくさんあり、土地をもって見える方の中には、売りたいけど売れない・・・なので、なかなか人が移り住むこともほとんどなく人が増えません。反対にこのあたりに土地を買って家を建てられれば・・という方もいますが、農地ではなかなかうまくいかないそうです。なので、子どもも減る一方です。もう少し家が建てられて、若い方の世代が増えて活気が出れば良いな

と思うときもあります。

- 育樹祭は大変良いこと。同様に春、村民によって(ボランティア活動)広葉樹、コナラ、エノキ、エゾヒノキ、ケアキ等の植林を大芝、大泉所ダム周辺に行ったらどうか。是非先人が大泉を愛し大芝に赤松、ヒノキを植えたように里山の再生を図ってほしい。
- 村には大芝高原という立地条件に恵まれた土地がある。これを最大限に生かして、温泉、娯楽施設の拡充はできないものか。
- 人と自然
- 特産品、農産物(スイートコーン、アスパラ、葱)、大芝公園
- もっと村でなければできない要因を考えだす必要があると思います。
- 大芝まつり。保育園から大学まである村。
- 病院
- 風力発電
- この村の豆腐がないので地の物の大豆を使ってやってほしい。梅なりブドウを使ってのワインづくり。温泉を利用してのリハビリ他保健施設等。
- 大芝高原
- 大芝高原、中央道と伊那インター周辺の土地。
- 大型農道沿いの土地(企業誘致)。農作物=果樹など(サクランボ等個人では無理なので3~5坪位ハウス農場を大きなハウスでの果樹に)
- 村を代表するような特産品や工芸品を作りだせると良いと思う。
- 菅平のように大芝高原一帯をスポーツの一大メッカにする。芝のグラウンドでサッカーが出来る様な施設を作る。学生が全国から集まって来るだろう。湯もあり、宿泊も多くなり観光面でもよい。
- 大芝高原
- 保育園から大学まである教育機関や大芝公園などの観光施設も整っているの、これらの充実を図ってほしい。食品を扱う店はあるが、日用品、洋服などを扱う店もあればよいと思う。
- 自然環境の充実。まずは公共施設での環境整備を。もっと緑を増やすこと。自然を観光に結びつけるための第一歩を望む。自然を売りに。
- 村内の商店(食品・雑貨)がどんどん廃業、撤退、移転をして、あるのは数店のコンビニくらいになってしまった。今後年をとって足も弱くなり車も使えなくなるのは目に見えています。とても不安です。自分が若いから昔の御用聞き方式の店でも空き家から出られない人の役に立ちたい思い強まります。
- 大芝高原など
- 孫たちが大芝以外近い所に公園がないので遊ばせるにはとても苦勞しています。すくすくハウスでは設備が物足りないの、車で乗っていくと、宮田とか伊那、箕輪と行ってしまふところがあり、歩いて行ける区内に一つくらい大人から子供が集える公園があったらお年寄りも小さな子もふれあいができて良いのではと思います。
- 県下で一番若い村(若い人の多い村)。この人材資源が使いきれしていない。行政(役場)がもっと若い世帯に飛び込んでいくことが必要と思う。
- 空き店舗の有効活用。
- 温泉を利用した若者も楽しめる施設。

- 考えたことがない。資源あるんですか？よくわかりません。
- 大芝などの山林自然。経ヶ岳。田畑の有効活用。村という事の魅力。
- 太陽光発電普及。
- 大芝温泉と付近の森林を大切にしていきたい。
- 大芝高原内の施設。
- 南箕輪村は自然と工業のバランスだと考えています。現状はバランスが良いと思います。大芝高原に牧場があると面白い。パチンコ店は規制をかけるべき。(景観が台無し)
- 温泉利用。足湯等を生かした公園、人の集まる所、森林を生かした公園。牛や馬等を利用して子どもの集まる所。
- 大芝の湯の温泉や熱を利用して室内プールなど、雨の日に利用できる施設を。
- 農家で作った野菜を捨てることなく活用出来たらいいと思います。
- レジャー施設。飲食店の誘致。
- 大芝高原とその周辺。保育園から大学まで村内にすべてある環境。
- 大芝高原という広い土地と自然があるのでそこを有効活用したらいいと思います。「南箕輪村」は県内でも県外でもあまり知られていないと感じたので、他の地域の方々にも来ていただけるような村づくりをしてほしいです。
- 人間。そこに住む人。
- 自然
- 技術を習得させてから企業に人材を派遣するような技術専門校的教育機関、もっと实际的で即戦力となる教育をする養成所と、大企業の生産工場の誘致による製造業の発展となる事業が必要と思われます。もう一つ特産品、そしてレジャーでも人を呼べる施設が必要です。
- 豊かな自然。大芝公園などの施設。お風呂(温泉)これらにご当地グルメなどのような人気商品があれば県外からもっと多くの方が訪れると思います。
- 人的資源の活用
- 森林、野菜、野草、果物、温泉
- 村の中の店が減っていく現状であり、高齢者にとっては大変不便。
- 大芝高原の森林
- 米づくりオーナー制度。非農家による遊休農地の活用。
- 休耕田の利用。
- 水力発電。川の水利用。
- 地産地消の利用方法など
- 放置してある草むらや畑を公園として子供に開放する。遊び場がない。
- 7番に関連して、道の駅を作ったらいいと思います。
- 商店(コンビニなど)の支援策。灯油、タクシー券配布とともにコンビニと提携して補助券を配布したらどうか。
- 大芝高原の自然環境を生かしたい。
- クリーンエネルギー(ソーラー発電)を施設へ設置
- 大芝高原まつり以外のイベントで全国的にアピール。
- イルミネーションフェスティバルなどに千円未満のお土産を考案したらどうか。メディアにもPRし宣伝効果も期待できるのでは。

- 非耕作地の有効利用。(太陽光発電。村で借りて失業者に耕作してもらおう。)
- 大芝高原今以上森林を減らさないように(建物を建てないで)
- 大芝高原まつりへの参加は毎年大変ですが、素晴らしい資源です。更なる有効活用を考えて下さい。
- 大泉ダム周辺のアウトドア施設
- 農業団地の有効活用。地産地消に結び付ける。
- 西天地域の長期的視点に基づく開発。さしあたって宮田方式の導入。
- 手を入れないと自然とは言わないので、整備続けることが自然環境を維持できる。バランスあるハード面の整備なくして村の発展なし。
- 資源ではありませんが、諏訪・松本・飯田の中間地点という立地条件を生かし、住宅街地化の推進。
- 信大農学部
- 大芝高原、高原でのイベント、大芝の湯、セラピーロード。
- そのままだになっている店などの跡地を有効活用して使った方がいいと思う。トイレなどあるとうれしい。駐車場など。D2、ニシザワなどあった所にかっぱ寿司や西松屋などのお店が近くにあってくれたらすごくうれしいです。伊那まで行くのもちょっと大変。あと、雨が降ったときなどに子どもたちが遊べる室内での施設。(小さな子から小学生の子どもたちが遊べる場所)
- 山が多いので気軽に日帰りできる登山(安全な)ルートと周辺の観光施設を作ってほしい。
- 生ゴミ・田や畑の荒れ地が目立つと思うので、もう少し有効な活用方法がないものかと思う。むらづくりの委員はJAも含めて進める。村の美化につとめる。(花いっぱい運動も含めて)
- 大芝の木々
- ここ 10 年か 15 年の間に、ほとんど小さな店からはじまって、農協、D2、スーパー、酒又は穀類その他販売している店がなくなりました。何か欲しければ、伊那・箕輪に行かなければ買うことができません。昔は南箕輪村の人は自分の村に買い物に行き、足りない物だけよその町・市に足を運んでいたのが淋しいです。
- 小さな子どもがいて引越してきました。が、エコ、エコというのに燃えるゴミ以外が車でゴミ出しに行かないと、今は夜勤の人たちも多いのに、大変住みにくいです。ゴミのこともう少し改善してもらいたい。会社を作ってもらい働く場所を作ってほしいです。税金も納めてもらえれば村も良いのでは？以前住んでいたところは子どもを遊ばせる施設たくさんありました。地区ごとに自由参加できる乳幼児学級もあり、市から毎年通知が来て教えてくれました。伊那や箕輪はサークルという形であるようですが、南箕輪に来てからママ友を作る場がないです。子どもがかわいそうです。
- 若い人材・広い大地・大芝高原・自然
- 経ヶ岳に続く大泉川・旧権兵衛街道の林道・天竜川段丘に広がる農地
- 大芝高原
- 道の駅等、村外の人達も寄れる場所で特産品や飲食の出来る(気軽に立ち寄れる)所があればいいと思う。
- 大芝にある温泉を利用してプールを作ってほしい。

- 村の中心にある八幡森を皆の想いの場所とする運動が必要であると思います。神社庁はわからずやだが八幡宮総代、地域住民、行政がまとまって当たれば解決するのではないかと思われる。平成 16 年の森林整備も苦労したがやっと話をつけたいきさつがあります。
- 村内だけのむらづくりの考えだけでなく、伊那市、箕輪町等の人々が来たくなる、利用したくなるむらづくりが大切。
- 大芝陸上競技場を人工芝一面グラウンドにして、総合グラウンド施設にする。合宿にもOK
- 大芝高原のさらなる活用とその経営内容を綿密に洗い直す。
- 温泉・農産物
- 木材
- 家庭菜園をしております。あじーななど車に乗れず遠いので近くで直売所があれば。
- 休耕田の利・活用
- 雨の日に遊べる屋内施設。子どもの遊具、すべり台やブランコや色々置いてあるところ。例えばいなっせ/岡谷の足湯/デパート/車のディーラー・雨の日に気軽にお弁当や何かが食べられる場所。持ち込み禁止が多い。一時的に使用していない場所(ニシザワやD2)など使用したら。
- 土地(空地を利用しあえる活用(企業))・子ども・家族が楽しめる施設 。例)プール付レジャーランド、温泉、ショッピングなど
- 信州大学農学部

問 15 (まっくんバスの運行について) その他

- 利用する客が少ないので、現在の運行で良いと思います。
- 最近はわかりません。
- もう少し利用したいと思うが大芝まで行くのに1時間かかり、帰りは利用できないことが多く出かけることをあきらめたりする。もう少し時間がどうにかなれば健康教室等参加したいのだが・・・これから高齢が進み不安。
- 中学生の部活向けに土日・祝祭日、夏休みに南部小から中学校に向けて往復1本でいいから便を作ってほしい。(金額200円でも)
- タクシーかバスのオンデマンド方式等の検討。
- 逆コースを作ってほしい。行ったら戻る感じ。
- 村のため人のためもとても大事だと思うけど、なぜ利用者が増えないのか本気で考えて運営してから運行して欲しい。
- 10人乗りワゴン車及び20人以下マイクロバスくらいで良いのではないかと。空車の時も昼間多くみられる。
- 4月から伊那バスが通らないので(本線)村の医院の近くに回っていただきたい。
- 伊那市駅を經由して欲しい。
- 土・日の運行
- 同じ方向で運行されているがどうかと思う。行ったり帰れないコースがある。
- 駅・病院での乗り換え時間は10分位は余裕をもった運行を考えてください。
- 将来は利用したい。
- 金額が200円になってから、年齢を重ねた人の利用が少なくなってバスに乗らない。
- 現在の運行のままで良いですが、土・日もあるとありがたいです。

問 16 (まっくんバスを利用していない理由) その他

- 近くに来ない。
- 利用したいのですが、病身になって一人で乗り降りが不安なため。
- 何処をどう走っているのか(どういう路線か)知りません。
- 自家用車利用のため(他20件)
- 不便。(遠回り・時間・乗り継ぎ)他地域に学ぶ、路線・時間・使用者に欠けている。
- 今現在はマイカーで買い物等に出かけておりますので利用しておりませんが、年をとり車の運転が出来なくなれば必ず「まっくんバス」を利用します。
- 必要なところを走らない。もし活用するなら便利が良い。伊那市など上伊那の市町村とつながれば車よりバスを活用したいかな。でも連絡が良い方がよい。(一日せこせこと暮らさなくてもいいようになればと思いますが無理ですね。)
- 便数が少なく土・日に利用できないため利用したいときに利用できない。
- 本線のバスが廃止になってしまい、高齢になった時の行動が本当に不安になる。もっと広域的な電車とか伊那市の巡回バス等につながるダイヤを考えてほしい。休日等はバスもほとんど通らないし行動できない。若い人も利用できるよう考え宣伝していくべきと思う。
- 将来的には利用したい。
- 木曜日は休みにして、土・日・祝日運行して欲しいです。

- まっくんバスは必要ですのでこれからも運行していただきたい。
- 1日の回数が少ない。(小型にしても)年寄りが多くなるためバス停も多く。
- お年寄りには必要と思うので継続して欲しい。
- 運行ダイヤが利用に向いていない気がする。環状とピストンの併用も必要かも。
- 本数が少なすぎて利用できない。
- 運賃が少し高く負担がかかる。
- 時間が不都合で利用できない。
- 年齢的に運転できなくなれば利用する機会が多くなると思います。
- 路線や他交通との接続。
- 健康のために歩く。
- 土・日の運行がない。温泉に入ってゆっくりしたかった。
- いずれ利用したい。
- 利便性がない。運行コースを変えてほしい。
- 必要な時間帯にバスがない。
- 乗りたいが身体が不安だから足に自信がない。
- 利便性に不安。伊那市駅に行きたい。
- 自家用車の方が都合いい。
- 年をとれば利用する。
- 運行数が少なく通勤時間帯の運行がなく不便。最寄駅(伊那市、伊那北)への乗り入れがない。
- 詳しいことが良く分からない。
- 老後は必要だと思う。
- 狭い生活道路を無理やり走っていて非常に迷惑を感じる。広い道路のみではいけないのか？
- 目的地に行くのに時間がかかる。営業バスがなくなったので伊那市方面へも行けるように。
- 不便
- 村の中だけを回るまっくんバスでは用が足りないため、今後車の運転ができなくなるであろう時期がくると不安に思う。
- 時間、行く先等も含めて不便。(検討を)
- 全く必要ない。即刻まっくんバスを廃止してください。この計画をやりたいと考えている人(村長や役場職員)と利用者で全額まかなっていただけるなら続けてください。
- いずれ利用したい。
- 現在は困っていませんが、この先子どもが使うことが予想されます。子どもは伊那養へ通っていて判断能力に欠けているので回数券などがあるとありがたいと思います。
- 不便・時間が合わない。
- 村内のみ村外へ行きたいとき多々あり。
- いつも空っぽのバスもったいない。
- 年をとったら必要になるかも。大勢のっているのを見たことはありませんが、必要としている人が多くいるのでしょうか。
- 車のない人にはおかげだと思います。
- 適当な時間に運行してはず、利用ができない。もっと本数を増やしてほしい。
- 運転できなくなった時は利用したい。

- 時間が合わない。
- これから利用してみたい。
- 足が悪く外出は自家用車かタクシーです。
- 利用したいと思うが運行時間やコースが求めているものと違う。電車の時間に合わせたり村外へのコースを増やしたり・・・
- 利用したいエリアへの運行がされていない。
- 今のところは必要ない。
- 運転できなくなった時は利用したい。
- 行きたい所へのルートがない。
- 時間が合えば利用してみたいと思っています。
- 運行している面では大変ありがたいが、時間に余裕がない者には目的地までに時間がかかる。
- 行きたい路線がない。本数が少ない。自宅から南信病院など。
- 電話にて個々家に行く。
- 必要だと思うが今は困らない。
- ダイヤが不便
- 近くに停留所がない。(南原 6・7 組)
- 子ども、高齢者には必要。
- 人があまり乗っていない。小さいバスでも良いのでは。目的地までの時間が長い。(200 円でもどうなのか)
- 将来利用(他 1 件)
- 学生利用に合わせた駅前停車。もう少し利用しやすく(こまめに止まる)。部活などで遅くなる学生の帰宅時間に合わせた運行。
- 停留所が遠い。
- 時間が合わない。
- 家族に依頼。
- 土・日の運行を希望(孫を乗せたい)
- JRの最寄駅に寄れば利用したい。
- 車があると自分たちで好きな所や好きな場所に行けるので、今は利用することがない。
- 現在、車の運転が出来るから乗らないが、いずれ車の運転が出来ない時が必ず来る。その時は、まっくんバスを利用したいと思います。
- 今現在必要ないから。高齢になったら使用するかもしれない。
- 小さい子どもがいて歩きが未熟。バスの情報ほとんど知らない。車の方が楽
- 自分では利用しないが、周囲の人は使っている。昼のバスが少ない気がします。
- 利用したい時間が自分とは合致しない。
- 不便すぎる。
- 自分で車の運転が出来なくなったら利用すると思う。
- 運行時間、回数等実情に合っていないので(例)行きは良いが帰りの便がない。発着起点の南北便の連絡時間が合わない。
- 車があって運転できる人には必要ないが、免許がない人、老人にとっては必要だと思う。
- 車があるので利用はしていませんが、あれば便利だと思います。

- 運行コースが便利でないし、本数が少ないのでうまく利用できない。土・日に運行していないから利用しにくい。
- 利用したい時間にバスが利用できない。行きたい場所によって遠回りで時間がかかる。
- 運用時間が合わない
- まっくんバスが止まるところと違う場所に車で出かけるので。
- 自家用車をまだ乗れています。いずれは利用させていただきたいと思います。
- 高齢のため

問 18 (今後の土地利用について) その他

- 大型ショッピングセンター(スーパー)の誘致。(他7件)
- 休耕地の利用。都会より(東京から近いので)セカンドハウスの誘致。地元の人々農業指導体制の確立。
- 村民プールを中止にして駐車場にすべきと思う。
- 大芝区は宅地が増やせないとこの先子どもがいなくなる。
- 村民が楽しく遊べる運動場。
- 樹木等の自然をもっと増やしてほしい。大芝高原も開発し過ぎず、自然を保全して欲しい。
- 赤字になるものはしない。
- 里山を整備して害獣を山にとどめるなど。
- 線引きなどいらぬ。個人の自由。
- 鉄道の利便性の向上。
- 豊かな緑の木々ぜひ残してください。
- 自然を切り開かなくても土地は余っている。大きな道路を中心に動いているが、小さな道路にある店にもお客さんは呼べると思う。
- 遊休農地の解消。
- パチンコ店を多くするなら工業を誘致した方がいい。
- 人が集まる施設。大芝公園の開発。
- 大芝など自然をあまり壊さないでほしい。
- 大型量販店を誘致。
- 大企業の誘致が必要です。
- 重要なのはバランスです。明確な線引きは良い面もありますが悪い面もあります。各分野がグラデーションを描くように無理なく連携をできる利用を考える必要があります。
- 食品、日用品店の誘致
- 大芝の再検討。
- 商業地域が村外に出て、今村内で買い物ができない。商業の誘致が必要。
- 村は農業の村として発展したい。
- ショッピングモールがほしい。
- スーパーなどの店、買い物店の充実を。
- 村独自の特産品はないのでしょうか。
- スポーツ施設を是非つくってほしい
- 多くの有識者意見を活用してほしい

- 農地が疲弊しない工夫は必要。
- 休耕田の利用・活用

問 19（生活の中で環境保全のために気をつけていること） **その他**

- 太陽光発電(他 2 件)
- 生ごみだけ集めリサイクル出来たらいいと思う。
- 子供服のリサイクル。
- アイドリングしない。
- 洗剤は使用せずトルマリン繊維のたわしを使う。
- 生ごみは畑に、ゴミは風呂、暖房用に焼却。
- アクリルたわしを使用している。
- リサイクルショップを良く利用している。
- 外灯にソーラーライトを使用。
- 野菜くず肥料化。雨水貯水は花などに。
- オール電化。
- 冬はカーテンを多くつける。
- 節水に努める。
- 食材の使い切り。
- 生ごみ処理機の活用。

問 20（生活の中で環境保全のために今後気をつけたいこと） **その他**

- ごみの減量、生ゴミのたい肥作り。

問 21 自由意見 （最後に、これからのむらづくりへのご意見を、自由にお書きください。）

その他意見

【子育て・教育・文化】

- 子どもの安全を第一に考え、そこにお金をかけて村づくりして欲しい。
- 次世代を担う子どもたちの教育に村全体で真剣に取り組まなければならないと思う。いわゆる常識が通じない、人の迷惑を察することができない、ゲームつけの子供、大人の指示が守れない、そういう子どもを指導できない親。問題の根はとて深いです。人づくりはやがて村づくりにつながると思います。学校だけでなく地域ぐるみで子どもたちを育てていけるような雰囲気、体制づくりが大切だと思います。
- 学校の一クラス当たりの人数が多すぎる。
- 若い世代、世帯が村に親しみ愛着をもち村の行事に関心を高めてもらう施策を。
- 小中学校での高齢者、障がい者の方との交流がこれからも大切。子どもが多くの人に触れられるよう工夫。
- 学童保育は、親と子、先生との連携がうまくいっているのか疑問。
- 小さな子供を連れて遊べる場所がもっとほしい。(屋内での)
- すくすくハウスは、良く利用される方と一部の職員さんで輪ができていて、初めてやたまに利用するひとは入りづらい印象を受けます。自立した村なので工夫した行政をしていて魅力あるむらだと言われます。自然環境を有効活用しより良い村にしてください。
- 子育て支援を充実させていくべき。医療費の無料ですが安心して子どもを診ていただける小児科が南箕輪にはありません。母子保健も、食物アレルギーや病気をもつ子どもたちの支援は十分とはいえません。保育料は安いですが保育園のおもちゃの整備、保育士の継続教育が不十分です。さらに、障がい児の療育も課題です。子どもたちのニーズにきめ細やかに対応する、質の高い子育て支援を目指すべきです。
- 子育てをするのにとても良い環境だと思う。村民の意見も耳を傾けていただき対応してもらえていると思います。
- 今後家を建てたいが、子育てに対する支援があると良い。
- 図書館や生涯学習施設の整備が十分でないように思います。村民が学ぶ機会の拡充が更に図られるとより暮らしやすい村になるのではと思います。私が暮らした街の中では一番暮らしやすい街です。
- 若い保育士の教養の無さを感じる。定年後何年も保育に携わることは後々の保育士は育たない。そういう人を若い保育士指導に充てたらどうか。
- 村内の文化財もだんだん大事なものが増えてきたが収蔵庫があまりにも応急的で保存が心配。
- 子育てで日本一にするなら小学校をもっと広くしたり、通学路を決定し道路に色を塗ったりして区別するなど変わったことをしていくことも必要。
- 現状維持では村民の子供の割合は増えていかないと思います。子育て支援の充実とともに少子高齢化が社会制度の崩壊につながるということをもっと広報などで村民に知らせていくべきだと思います。
- 毎年、イルミネーションを楽しみにしています。大芝高原まつりはマンネリ化している気がしますので、もっと何か参加できることがあれば楽しいまつりになるのでは。

- もっと3歳以下の子供が利用できる施設を作ってほしい。離乳食なども作ってくれるようなところがあればゆっくりできて友達も作り易いと思う。
- 郷土・博物館の建設委員会が2度立ちあがったが立ち消えになった。管内でも文化に疎い村という感を禁じ得ない。立派な文化財を広く展示し文化意識を高めるため郷土館建設を望む。
- 人と人のつながりを大切にして、皆が楽しく参加できて盛り上がるイベントなどが催されればよいと思います。
- 子育てしやすい、住みやすい村づくりを進めていただきたい。保育園の老朽化も進んでいますが保育の質向上も含めご検討ください。共働きで子育てするにあたり周囲の人の手助けをいただける制度の検討もお願いします。

【健康・福祉】

- 精神障がい者等も共に集える居場所を作ってほしい。
- 去年まで年寄りを抱え介護問題で現行の施設に受け入れてもらえず不都合がありました。私たちも年をとり介護を受けるのもそう遠いことではないと思います。老人、弱者に温かい村にしてほしいと望みます。介護施設を充実していただきたい。老人、弱者は全てにおいて弱いのです。何かがあるのが普通だと思います。それに対して弱腰にならず、受け入れていただきたい。何もない健常者の弱者はいません。温かい村であってほしいと常に思っています。
- 手助けしたい願いと、やってあげたい、手助けしたい気持ちをうまく結びつける「コーディネーター」を組織的に作り上げると住みよい村づくりになると思います。
- 家族の介護にあたり、役場の担当課が機敏に対応していただき大変助かり心から感謝しています。介護問題は地域や村の力が大変必要だと感じました。行き届いた温かい援助があり、子どもや若者がお年寄りと交流できる機会が多く持てたらいいと思います。
- 税金・福祉が充実しているのでずっと南箕輪村に住みたいと思います。昔からの人と新たに移住される人とのコミュニケーションをとれる機会がたくさんあると良いと思います。
- ほぼ、全ての用事が南箕輪で済みません。すくすくハウスはおもちゃも少なく、食事も同じ場所、先生たちの対応もいかなものかと思います。わざわざ、飯田市、松川町、箕輪町に連れて行きます。(すくすくハウスは評判悪いです。)役場職員も対応悪いし、子どもの健診も良くなかったです。飯田市に居住経験がありますが、子育ての事(飯田以外の村なども)にすごく力を入れているし、市役所等公務員のみなさんもすごく感じ良いですよ。村の利益より村民の利益を優先してもらいたいです。南箕輪はこれからです。頑張ってください。
- 個々が生活習慣を改善し健康で生活できるようにすることが大切。近場は歩く習慣(車をなるべく使わない工夫)をつける。
- 高齢化社会においては精神保健福祉業務は切っても切れない仕事だと思います。行政の担当者ができるだけ地域の中に足を踏み入れ、各施設の悩みや実情を把握し何に苦しみ何を求めているかをくみ取り、行政に反映していただきたい。
- まじめで一生懸命の人たちのための福祉を。総体的に村の考え方や職員の方々の熱心さが伝わってきますし住みよい村です。予約制で困ることが多く医療施設がほしい(病院が遠い)
- 障がい者の仕事をもっとつくってほしい。
- 障がい者の福祉に力を入れてほしいと思います。
- 老後の施設、病院の利用促進充実
- 福祉入浴券 10枚くらいにしてほしい。

- 一人暮らしの老人にもう少し暖かい手をのばしてください。毎日が淋しいと思います。
- 一人親家庭が多くなりつつありますが、今後も相談の機会をもってほしいものです。
- 高齢者、納税者に医療費軽減等平等にしてほしい。(子どもがいる世帯だけ)
- 子供の医療費の無償化ですが、伊那市などは就学前だけで小学生からは有料です。南箕輪の小中学校の備品も村から潤沢に補助が出ていて、他の市町村から赴任した先生方は南箕輪の豊かさに驚いています。若い世代が当村に移り住んできて人口も右肩上がりなのですが、買い物などはスーパーの撤退等でとても不便です。今年のプレミアム商品券販売で、改めてスーパーのなさに驚きました。車のある人は良いですが、お年寄りなど足のない方は買い物に本当に困っています。村からのタクシー券も感謝していますが、買い物に使うのがもったいないと病院通いなどに使うよう工夫しています。そこで、子供の医療費を全て無償化せず、本当に困っている人にお金を回してほしいと思います。子育ては大変ですが、医療費がタダだと安易に医者にかかっている人も多いのが事実です。「日本一の子育て村」素敵な事です。しかし、その礎になっている昔からこの土地にいる人が寂しい思いをしていないか。人づきあいが希薄している時代に、お金ばかりのバックアップではなく、心のバックアップもしてもらえたらと思います。
- 総合病院が村にできたら嬉しいです。
- 大きい有料老人ホームを造ってほしいです。スポーツ、文化施設を完備し、入所できれば友人、隣組の人、講座での知り合った人もいると思いますし、楽しい老後が送れると思います。
- 長野県で一番若い村といわれていますが、これからまだまだ高齢者は増え続けると思いますので高齢者のための施設が増えると良いですね。
- 保育園に2人通園したら、保育料は上を半額ではなく下の子を半額にしてほしい。
- 今の村長さんになって医療の無料化になり大変有り難く活用している半面、子供の健康維持や予防に力を入れて必要以上に村の財政を圧迫してはいけないと思います。本当に困っている人を助けていくようにしたいですし、誰もが心豊かに生活安定し、支え合ったり協力し合って生活できる村を願っています。
- 若い者が年寄りに上から目線でものを言うような態度をとるような福祉施設には、自分の親も夫も自分も入れたくないし入りたくない。もっと福祉施設の質の向上と子供にはお年寄りを尊ぶ心を学ばせて下さい。
- 高齢者に対する生活優遇制度の創設。(買い物ポイントなど)
- 子育て、育成を地域ぐるみで行うようにしたい。
- 子供への医療費補助は本当にありがたいことで是非続けてほしい。ただ、予算に限るがあるので医者にかからない健康な体作りとして保健分野の充実を図ったら良いと思います。保健師さんの活動を期待します。
- 社会福祉協議会の充実を。負担金を集めるが使い道がしっかりしているのか情報提供して欲しい。筋力トレーニング等の室内施設をお願いします。
- 高齢者が家に閉じこもらないよう、地域社会に積極的に顔を出せる場(コミュニケーションを図れる場)など、もう一步より参加しやすい行政側の対策、対応を望みます。

【自治・協働】

- 村長・村の動きが全く伝わってこない。
- もっと住みやすく未来ある町になれば良いと思う。

- 村民が自ら村を創り上げていく意識が少ない。
- 進むべき方向性を一つにしてしまうのではなく、ある程度は選択できるようにしていただけたらと思います。
- 村民の意見を取り上げ、小さなことでも切り捨てず考えていってほしいです。
- 人を引き付ける魅力あるむらづくりに頑張ってください。
- このアンケートをもとに、村づくりの方針を定め進めてください。
- 明るい村づくり。住みよい村づくり。村が誇れる村づくり。
- 区・組加入の問題は区・組加入金の問題が大きい。全員加入の義務化、短期移住の人は移住期間に応じた加入金を返金するなどの案はどうか。
- 「村」として頑張ってもらいたい。
- むらづくり委員の人たちの協力が無いのに、区に仕事を回さないでほしい。役をする人がいないので決めるのが大変です。むらづくり、必要ないと思う人が大半です。
- 変な常識や固定観念、一時的な流行に流されない「むらづくりの理念」が必要です。人を豊かにするのは物ではなく人です。時間はかかりますが村を思い行動できる「人材」づくりがこれからのむらづくりに欠かせないと思います。
- 以前さんざん協力して活動したが、あることに失敗すると何も助けてくれなかった。そんな村のむらづくりに協力したくない。
- 行政サービスを充実して欲しい。(住民にやさしいむらづくりを)
- この地に7年、少しずつ友達もでき公民館活動、ボランティア活動も楽しく頑張って協力していきたい。
- 村の存続、継続をどのように進めていくのか考え方を広報してほしい。(近隣市町との合併問題)
- むらづくりは欠かせない課題です。自立を選択し、自助、共助、公助が住民へ浸透していない。自分の地域を見直す方策をもっと住民から提示し、自助、共助、公助、の機運が高まってお互いが理解しあえるむらづくりが発展につながると思います。
- 人口に占める若者の割合が多い当村は恵まれている。村だけのことではなく、広い地域に視点を置く必要がある。比較だけでみるのではなく、住民の心がどこにあるかを認識することが必要。
- 地区の仕事が多すぎる(ボランティア等)。農事・共済関係の仕事は役場か農協で行えばよい。地区、村の行事は参加したい人だけで行えば良い。村の職員の給料が高すぎる。(特に退職金)いろいろな役が多すぎる。(都会ではないことがなぜ村は多いのか)アンケートは良いことだから役立ててほしい。
- 村職員の質を高める。職員一人ひとりが毎日の生活の中で村民とのコミュニケーションを図る。
- 昔はこの村に生まれ、子どものころから誇りを持って生きてきた。この地を離れて再び帰ってきて、自然も人間関係も変わりました。人間の心と自然の美しさを改めて考えたい。
- 村政の要は村議会を中心とする活動で、それは村民に国税、地方税、村税以外に金銭を求めるものではない。住みやすい安心できる生活を供給できるのを大前提に活動して欲しい。区制とは村行政の代わりではない。村民に裏税金をとらせるようなものは、移住者や移住しようとする者にとって決していいとは思えない。
- むらづくりに関心がありませんでしたが、大いに心得ました。

- 街灯が少ない気がします。大人でも夜歩くのが怖いのに、部活帰りの中・高生はどうしているのか心配です。
- 南箕輪村は住みやすい村です。新しい住民と昔からの住民では地域に対する気持ちが違います。できるだけ話し合える場が必要だと思います。
- 大規模災害が発生した時の対応策はどこまで進んでいるのか。どう取り組んでいくのかわかりやすくPRしてほしい。
- 同じ村に居住している以上負担金等不公平があってはいけないと思う。
- 村として骨太方針を明確にして推進していただきたい。
- 伊那市と合併してほしい。
- 伊那市との合併はしないでほしい。
- 古い考え方がはびこっていて町場から来た者にとっては住みにくい。区からの押し付けが多く組長が大変。
- 高い住民税を払っているのにどこに使われているのかわかりにくい。住民の税金をどこに使ってほしいかがわかっていないと思う。
- 自然に恵まれた南箕輪村又県下で一番若い村を、村長の言われる「協働」の精神を維持しなければならない。
- 自主防災班や危険場所の設定等、いろいろ充実してきていると思います。安心、安全に暮らせる村を一緒に作っていきたいと思います。
- 当村はアパートも村報を届けてくださり村の情報がわかりとてもありがたいです。税金の使われ方も判り良いサービスだと思います。
- 地域格差のない行政を望む。
- 気楽に集まり、体を動かしたり、何かしたり(作り・学ぶ)話ができたり茶話会ができる居場所があったら良いと思います。
- 北殿駅周辺と西側国道へ上がる道路、竹林、照明・・・全て考えなおしてください。交通にも不便、防犯上最悪です。今のところ事件事故はありませんが、このままではいけないと思います。娘は二度見知らぬ人に追いかけられました。自転車置き場も乱雑で目が行き届いていないのが良くわかります。駐車場も必要ではないでしょうか。
- 一人ひとりが安心してコミュニケーションをとり合い、出来ることが少しづつ昨日より今日といった具合に笑顔がいっぱいである村になれたらいいと思います。
- 特に子供の通学路に、もっと街灯を設置して欲しい。
- 出身は喬木村です。喬木村でもむらづくりに向けて青年団の人たちが意見を出し合っています。村外へ出た人にも喬木村の様子が確認できるよう絵葉書が届きます。他区、村外から良い目で見てもらえるよう以前とは違う区に変えていかなければと思っています。
- 地元の消防団に二十歳になったら必ず入団させる義務を作ってもっと団員を増やしてほしい。(20歳～28歳まで)
- 保育園から大学まである特徴と、子供からお年寄り階層とリンクして勉強会や独自活動をするソーシャルセーフティネットの構築をする。
- むらづくりは村民全員であることがベストなので、村民がわかりやすい説明と参加しやすいイベントを行う。村がどうしたいかを明確に伝えることが必要なので、回覧版ではなく何か方法を。
- 総合計画はマクロ部分ができているでもマイクロ部分で浸透していない。

- 諏訪地区から嫁いで20年になりますが、最初人の温かさに感激しました。地区の役員として村の行事に参加させていただきましたが、地域とつながることの大切さを感じました。住民が積極的に参加、協力するむらづくりを希望します。
- 南箕輪村は印象が残らず箕輪町と思われることが多い。村名称を新町名に変えてひろくPRした方が観光・産業に発展が期待できる。
- 情報があふれて何が正しいのかわからなくなっている時代、人と自然が一番大切だと思います。村としてのこれからのビジョンが知りたいです。その上で村民は何を伝えるのかわかれば少しずつでも行政にかかわっていけると思います。
- 人材をもって資源となす。公共の場のマンネリ化した人材選びにただ傍観しています。・・・という人が結構います。
- シルバーでなくても女性の40代、30代で家にいる人で何かできるような仕組みがあったらどうか。
- 周辺に街灯が非常に少ない事に対し不安が大きい。国内では学生を狙った犯罪が多発しており早急な対応が必要。
- 村内に街灯が少なく暗い道が多くある。安全のために増やしてほしい。
- 各区の区費の高いのにはびっくりしています。未加入世帯の多さにも驚かされますが、これではと納得します。転入前の地区では年間区費9,000円、この中から各寄付関係その他全部賄っていました。現在は年間17,000円、各寄付関係その他は別徴収。今後改善していかないと加入者は減る一方だと思います。区費以外にも旧態依然とした事柄が多く行政を通じて各区へ指導教育願いたい。
- 暴走族が最近うるさく、村の治安の低下を感じているので排除してもらいたい。
- 地域の特性を生かした取り組みが必要と思います。(上勝町「彩」の取り組みを参考)手探りでもやるべき取り組みと思います。お年寄りも家庭の主婦も勉強すればできる生産活動。元気の源になり地域の活性化、村の借金軽減へとなる重要な取り組みと思います。一人ひとり生きてきた中での知恵を持っているはずなので、それをうまく引き出し小さな取り組みから大きな展開へとつながればと思います。小さなボランティア活動への取り組み発信もお願いします。
- 自立の道を選んだのだから道路の雪かき等を業者や村にお願いするのではなく、昔のように自宅前の道路ぐらい村民が出て雪かきをするくらいの努力をお願いしても良いし、大切な事ではないでしょうか。
- 昔から住んでいる人、新しく来た人との間に溝ができることもあったりする。昔でいう「いんごう」を振りかざして若い人新しい人の意見を聞かない。そうした人間関係の改善をすると自然に区や組に入る人も多くなるのでは。
- 防災無線のスピーカーが聞き取りにくい。村議会議員の定数削減。議会だよりは廃止して必要事項は村報で行い無駄を省く。
- 自然と開発がバランスよく存在する、長野県内でも住みよい大きな村という印象があるのが南箕輪村です。これからも今の生活が安心して続けられるような村にしてほしいです。
- 南箕輪村は他の市町村に比べ人口も増え、若い世代からお年寄りまで偏っていないように見える。若い人たちには教育、就業などの問題、お年寄りには福祉などがこの時代大変な問題だが、逆に問題が解決できれば更に活気があり住みよい村に変わると思うので、役場の方には頑張ってもらいたい。

- むらづくり委員会の皆様日々大変ご苦労様です。引き続き頑張ってくださいと思います。
- 村の職員が親切でない。温かさが無いような気がする。
- アンケート結果を必ずホームページに載せてほしい。特にフリースペースの意見などは必ずお願いします。それに対する村や村長の考えも。
- アンケートの質問が若年層には答えづらい内容だったと感じた。(詳しくわからない。もう少し答えやすい内容に。)
- これからの村づくりの方向と課題について。近隣市町村の商業圏が発展する中でこれからの村づくりの方向性は、住民が好んで快適な居住地として求められる生活圏を確立することに主眼を置いた諸施策を講ずることが必要。そのために本村ならではの自然と田園風景を大切に、しかも両アルプスを日々眺める素晴らしい環境風土を創り上げること。その諸施策として①農振除外の徹底(線引き)②新築家屋の高さ制限③旧産業道路の改良④明神橋の改良(伊那市の接点)⑤村道の歩道新設(交通安全対策)⑥通学路における(南殿八幡神社交差点)変則横断歩道の改良⑦住民の働く場所の確保。(企業誘致が必要)
- むらづくり委員会がどんな活動しているか不明。広報誌で紹介すべき。
- アンケートの量が多過ぎるような気がしました。
- 閉鎖的な考え方の方が多いようです。自分だけ家族だけ、組だけ区だけという発想ではなく、開かれた考え方を希望します。
- 回りの動向に惑わされない。
- もっと住民の意見を聴いて、村づくりをしてください。何をしてほしいか、何が足りないのかこのアンケートを参考にして結果を出してください。
- アンケートは老人より若い人に出すようにしてほしいです。
- アンケートの内容を研究してもらいたい。答えようのないものやわからない質問が多く下手。
- いつまでも「村」で頑張りましょう。
- 街灯の増設を。
- 地域が住みよくなることを願うと同時に協力できることは参加したいと思います。村内にもう少し楽しめる場所(自然メインで、雨天でも遊べたりするなど)があるとうれしいです。
- 昔からの人と新たに移住される人とのコミュニケーションをとれる機会がたくさんあると良いと思います。
- 村議会ももっと住民に歩み寄る努力をしてほしい。議案を提出前に住民に発表し意見を求めたり、識見者に意見を求めたり単に多数決ではなく、きちんと議論することによって時間はかかっても良いことを勧め、悪いことはきちんと直せる模範的な大人を誇れるようなものを目指してほしい。形だけの議会なら必要ないと思う。
- 自分たちでできるようなことはしていくようにするか、区の役員や役場なので働く人を増やしてサービスの向上を図る。
- 近所に同年代の子供がいるのか分からなくコミュニケーションに欠ける。

【生活・環境】

- 自然を大切にしてほしいと思います。頑張ってください。
- 自然環境の素晴らしい南箕輪村です。これからも続けて守っていただきたく希望します。
- 学校などに太陽光発電の設備を設置してみてもはどうでしょう。
- 村営住宅を増やしてほしい。

- 交通マナーが非常に悪いので改善して欲しい。
- 南箕輪村は自然にあふれた住みよい村なので、あまり商業化することなくむらづくりを進めてほしい。
- 都市計画を見直し、土地利用区分を明確にしてほしい。特に道路、南北線は複数あり充実しているが東西線は狭く危険な個所がある。また、JR飯田線、北殿駅付近の交通が朝夕混んで狭いので危険である。以上から商工業地域、住宅地域、農業地域をもう一度検討して欲しい。
- まっくんバスですが、南箕輪村は車なしでは買い物や各施設の移動に大変困難です。おばあちゃんは車の運転ができなく、まっくんバスを利用する時がありますが、時間がまちまちで定時に着くことがなく今は寒い道路で待ってます。まっくんバスだけでなく、村で買い物病院などの手軽な車を出すことができれば老人の足に良いかと・・・大変な事とは思いますが。
- 私の友人たちには南箕輪村は人気があります。私自身もわざわざ選んでこちらに住んでいます。しかし、宅地や物件がとても少ない印象がありました。宅地の開発や優良な村営住宅を建てるなど、若い方たちをたくさん受け入れていけば村は活性化すると思います。大芝公園は良い施設だと思います。さらに改良を重ねてほしいです。
- 村の自然や伝統を残しながら地域活性化し、〇〇で有名な南箕輪村といってもらえるような村になったら良い。
- 自然を大切にしつつ、住宅地を確保し移転者に提供。
- ごみを出す場所がありません。
- 他市町村に比べると大変住みやすい村だと思っています。
- 伊那市、箕輪町のベッタウンとして自然を大切に安心して安全な場所、優しい心のある人たちの住む場所であってほしい。
- 時代に流されず、自然があふれあたたかい村であってほしい。
- 住みよい村、住みよい環境を願いますが、この頃遊休農地が多く見受けられ、道路沿いでは空き缶等が捨てられ、心の教育も必要と感じます。
- 道路が狭く歩道は段差がある。
- 住宅地などの裏にある森林の間伐。
- 老人、子どももベンチに座って交流できるような公園が大芝以外にありません。村の中心地(役場、銀行へ行ったついでに遊べる場所)に出来たらいい。管理は各組ごと当番で管理しても良いと思います。
- まっくんバスは利用者が少なければ考えた方が良いでしょう。むらづくりで花を作るのは良いと思います。
- まっくんバスは乗車人員を調査したらどうか。ボランティア移送サービスにしてみてもは。
- 可燃ごみ(小)の代金ですが、チケット1枚で2つ買えるのは良いが、それぞれに証紙代がかかるのはとても買いにくい。夏場はこまめに出したいが、大も小も支払額に差がないので大を買います。ゴミ問題は大きな問題ですので、ゴミの減量化への意識づけのためにも検討していただきたい。
- 大芝高原を若者が集まるスポーツのメッカにする。特に夏は菅平のようにスポーツ施設を充実させ、高校生のサッカー大会や練習ができるよう芝などを張って、全県、全国から集客する。伊那市の駅伝のようにある一定の大会を作り支援し育てていく。
- まっくんバスの土・日の運行。(高齢者以外の利用が見込める。)

- 豊かな田園風景を残してほしい。慣れ親しんだ景色が変わっていくのは寂しいものです。
- 水路および側溝も含め、車がすれ違えるように既存の道路幅を希望する。
- できるだけ農地や自然を破壊しないように。
- 集中豪雨等による排水の分散化の検討をお願いしたい。(低い地域の水害対策)
- ごみの分別ができていないため、改修されずに残ったごみを担当役員が仕分けしないとイケない状況はおかしい。(アパート、未加入の人への対応は村で取り組むべき。)
- 自然が豊かなのでこれからも維持して欲しいと思う。
- 大変住みよく、暮らし良い村だと思う。
- まっくんバスは、朝電話予約で自宅近くまで来てもらう方法がどうか。無駄には運行しているように思います。バスの時間(出来たら、9:10、10:10、11:00)の検討を。
- 高齢で役に立てませんが、幅広く発展されるよう祈っています。素晴らしい村で心から嬉しく思っています。
- 車の運転ができなくなった時に買い物さえ困難になります。もう少し便利になってもらえたらと思います。足が便利になれば高齢者の行動範囲も広くなり生きがいや楽しみも増えプラスにつながります。
- 運転できない者にとっては、歩く範囲の活動しかできなもので、バスの便をもう少し多くしてもらえると、他の地区へ足を伸ばせて村のことがもっと解り生活が充実する。
- 高齢者でも住みやすい村に。
- 子どもやお年寄り全てが住みよい村になれば良いと思います。
- 歩いていて街並みの景観に物足りなさを感じる。歩いて楽しい街であればベットタウンとして居住者がさらに増加すると思う。
- 街灯の青色は間違っている。逆に犯罪が起こりそうで不気味。
- 東西の主要道路が良くない。(昔よりはましだが)アクセスは今後どうなっていくのか心配。
- 毎日大芝高原を散歩コースとして利用させていただいておりますが、残念なことが一つあります。一部の方がごみを散らかしていく事です。ごみ、ペットボトル等、怖いのはタバコの吸い殻です。
- 世界に発信したという子ども地球サミットは、失礼ながら高いお金をかけた割には感動に乏しく、失敗だったのではないのでしょうか。エコはもちろんですが舞台に無理がありすぎる。何年かに一回でもいいし、いっそやめた方が無難だと思います。参加した人だけの自己満足ではいけないと感じました。(出演者も疲れている様子でした。)準備は大変だったと思いますが泥縄に見えました。
- 現在ある平地林を守ること。(宅地化等で将来が心配)
- 大芝以外で遊べる公園があるとうれしい。(箕輪町は結構公園がありました。)
- 子供の遊ぶ公園の数が伊那市に比べてかなり少ないので困っています。(土地に占める割合)家は北殿ですが大芝か小学校までいかないと遊ぶところがありません。雨の日はいなっせまで車で遊びに連れていきます。保育園を休日は開放する等したらどうでしょう。
- まっくんバスをよく拝見すると利用者が少なくもったいなく見えます。伊那バス運行も廃止となり有効利用を検討して欲しいです。
- 国・地方の財源が大変厳しい状況です。自立・安定したむらづくりが必要かと思います。地産地消の考えで、農業、林業、商業、工業が相乗効果をもたらすような、この村独自の長い目で

見た発想ができたらと思います。

- 身近に自動車等の心配なく子供を遊ばせることのできる場所がない。冬場の子供遊び場として空き家等を利用できないか。休耕田等の利用もできないか。そういうところから地域の結びつきができると思う。
- 住宅地、学校、保育園などの近くに遊技場やパチンコ店などができないよう土地利用の線引き。
- 大芝公園管理事務所前の駐車場が足りない。大芝プールを廃止して駐車場、歴史館等にすべきと思う。
- 村内の道路には交差点の優先権(止れ)の表示が少ないので、思いがけない事故がある。
- 荒廃地の土地利用。(住宅用地にして多くの人に住んでもらう。)
- 子供の遊ぶ場の充実。今の子供たちは外で遊ぶ場所がなくとても危険です。多くの子供たちが触れ合う機会と場所が、子供たちが育っていくうえで重要です。
- ガソリン節約と健康保持のために自転車を使う人が増えてきているが、道路が非常に悪いので改善して欲しい。神子柴から御園への県道歩道、アレチウリ対策が進んでいない。
- 周辺の田畑でよく何かが燃やされて煙とススがすごいです。環境や周辺住民の洗濯物が汚れると思うので、例えば日時等を決めるなど対応を考えてほしい。
- 大芝までは遠いので地区に小公園があると子供やお年寄りの憩いの場としてありがたいと思う。
- 子供が安全に走れる自転車道路の整備をしてほしい。身体を作る中学生時にバス通学はもつたない。環境が良いのだから車だけでなく歩行者、自転車にとっても心地よい道路にしてほしい。
- まっくんバスをもう少し考えてください。公共交通機関を利用したくても都合が悪いと使えません。伊那バス本線廃止で益々不便さを感じます。
- 上伊那地域の商業施設へまっくんバスの停留所を設置したらどうか。
- 村内在住者に対して「大芝の湯」の割引、または無料チケットの配布が毎年あれば良いと感じています。
- ごみ袋のチケットを決められた枚数いただきますが、補充のチケット代が高くてごみの処理に困ることがあります。もう少し安くないか。
- 村民の奉仕活動により広葉樹、クヌギ、コナラ、エノキ、エゾエノキ、ケヤキなど大芝高原、大泉所ダム周辺に植林し、かつての自然環境を取り戻す努力をしてほしい。育樹祭は良い試みで先人の意思を継ぐものである。
- 子供が安全に安心して自転車が乗れる道路づくり(サイクリングロードが大芝へつながっても良いのでは)、田畑駅周辺の整備、温水プールを造り冬も親子で遊べる施設をお願いしたい。
- まっくんバスをもっと利用できるように見直し必要あり。バス停を廃止し、住宅地を經由し乗客が自由に乗り降りできるようにすれば利用も増える。
- 新たに家が増えていく割に、子供たちが近所で集まれる場所がなくコミュニケーションがとりにくい環境にあります。村でちょっとした広場や公園等を作ってもらえるとありがたいです。
- 興亜化成北側の橋(下川原橋)をまっすぐ広くして欲しい。
- 子どもが楽しく遊べる大芝公園以外の公園の設置。

- ごみ袋は高価であるにもかかわらず強度が足りない。ゴミ削減の方法の一つに「ごみをつぶす」方法があるが家庭で試みるもすぐ破れてしまう。村が実施したごみの内訳調査だが、ごみ袋に特定できる名前や団体を書かせている以上、何らかのプライバシー対策、それに伴う説明が必要不可欠ではないか。
- ごみの収集箇所がコミュニティセンターまで遠く、徒歩で利用できるような箇所を増やしてほしい。(年をとって車の運転ができなくなると困ると常々思っている。)
- 酪農家の牛糞のにおい大迷惑。行政の指導を強く希望。
- 宅地化ばかり進めるのではなく、恵まれたこの自然を大切にしてください。
- 住民が日常コミュニケーションをとれる場所がない。子供が遊べる空間づくり。
- 村の自然は素晴らしいですが、大芝以外は何もないので、自然は大切にしたい所は残しより良くし、もう少し村民が回りの市町村に頼らないで住める環境を作ってほしい。
- 大泉川を利用した夏祭りの魚つかみ大会、魚釣りができる環境がほしい。
- 自然豊かで素晴らしい所だと思います。このかけがえのない自然を残して行ってほしいです。

【産業・交流】

- 1つの場所で全て賄えるショッピングモールがほしい。子供服・おもちゃなど子どもの物が買える場所がほしい。
- 買い物をするとところが村内にありません。是非早急に考えてもらいたい。
- 村内に商店がなくなって残念です。商店跡地の活用などを検討して欲しい。
- 153号線沿いの大型店が姿を消し空き店舗が多くなり都合も悪く、また、村を活性化させるためにも努力して欲しい。
- 村内にお年寄りの買い物ができるような店がなく、買い物をしたい時は誰かに頼まないと困るので食料品店がほしいです。
- 日用品を買える店が少ない。
- 村をいろいろなショッピングモールや高齢者向けの施設などを作って都市化して欲しい。
- 村の中心部、あるいは国道沿い、幹線道路沿いに生活必需品を扱う店舗があればもっと良くなると思います。また、買い物に行けない高齢の方のために、昔農協でやっていた移動購買車のようなしくみを行政で考えてみたらどうか。
- 田畑区、南殿区 153号線に生鮮、食料店等がなく非常に不便である。
- 伊那のナイスロードのような衣食電化全てそろっている場所がほしい。
- 食品、日用品の店が村内になさすぎる。中心に1店は最低必要と思う。
- 高齢者が生活していくのに北殿に食料品店がほしい。(歩いて行ける店がほしい)
- 村内大型店がなく伊那市等へ出向かなければならない。村内にあれば良い。
- 春日街道沿いに何でも間に合う(地元特産品含む)ショッピングセンターが欲しいです。
- 衣料品、食料品、電化製品を購入できる場所が少なく、もう少し充実した方が良い。
- 近年、スーパーなど生活に関わる販売店がバイパスに建ち並び居住環境が各段に上昇。しかし村内では徒歩で買い物するのが不便。(歩道の整備)
- 商店が何も無い。車があっても箕輪バイパスの大型店に行くのはこれから交通量が多くなればおっくうになると思います。153号線沿いに店を出せるようお願いしたい。
- 村内食料品の店が少なく、高齢者は不自由にしていると思います。国道沿いでもう少し人の出入りができる店があったらと願っています。

- 近くに食料品を購入する店が一軒もなく非常に不便です。153号線沿いに一軒でもいいから店が欲しい。
- 村にお店がなくなってしまう農産物・雑貨などの誘致、または年配の方にも住みやすく移動購買車(食品は地元農家の物を売る。生産者、購入者が村民。)の活用を考えてあげる。(農協と共同するなど)
- 年寄りでわからないことばかりですが、近所に歩いて用足しのできる店がどんどんなくなり都合が悪いと嘆いています。一軒でもあれば良いと思います。
- 老人が日用品を買いに行く所が近くにないので危険だが車で行く方法しかない。まっくんバスだけでは対応できないので、移動販売車等の補助金等の検討が必要。また大芝の湯に行つて、帰りに日用品・食料品等購入できるよう検討を。
- 大型ショッピングセンターがないことが(特に衣料品)が残念。
- 春日街道沿いにいろいろなお店(スーパーなど)がもっとできるととても便利。
- 他所に大型店ができて村内の店が閉店になってしまい、淋しいし都合も悪いですが南箕輪は住みよい村です。
- 生活上一番の生鮮食品の店舗と国道沿いの空き店舗がどうにかならないか。
- 村内大型店がなく伊那市等へ出向かなければならない。村内にも造ったが良い。ファミレスとかも。
- 食料品、衣料品などの買い物ができる所が増えてほしい。
- この村には歩いていけるお店がなく、死んでしまえということかね・・という高齢者の皆さんの声を聞いたことがありますか？そういう人がいるということを考えてください。老若男女が豊かに生きられる村にしてください。
- 村内の店が減って車に乗れないお年寄りや、身体の悪い人が困るのではと思う。
- 商業施設がないため空洞化してしまった場所にテナントを。買い物をする場所がない。
- 神子柴踏切の拡幅。村道7号線の改良をお願いします。
- 何か一つ特徴的なものを選び、集中的にPRした方が良いと思います。
- 通年交流し運動できる温水プール。例えば大芝温泉の歩くプールの拡充を望む。特に冬期の健康保持に有効。夏は大芝公園でのウォーキング、冬は温水プールでの水中ウォーキング、水泳。
- 福祉医療の充実は大切なことです。しかし、それは安心して生活していくためのものです。村としてこれから向かう方向は生産することにより利益を生み、そして人々に安心できる生活を与える。だから、利益を生む産業、お金の入る方法を見出していかななくては、村民の生活は成り立たないと思います。日本から製造業が消えてしまつては、滅亡してしまうと思います。農業・工業といった生産業、そして、それを支える人材を育てるための方法を、村民がもっと真剣に考えていかないと、村も国もダメになってしまい心配です。
- 地産地消で地元の野菜の拡大。学校給食にも利用。
- 大芝テニスコート(オムニ)の増設をしてください。大芝の開館時間を早めてほしい。(土・日は7時からの営業にしてほしい。他町では実績があります。)
- 伊豆市との関係を有効利用してほしい。
- 信州にあこがれて子どもたちとともに愛知県から移住し半年。温泉も近くにあり空気もきれいです。道の駅を作つたりして他県からも当村の良さを知ってもらいたいと思います。

- 特産物を作りだして道の駅をつくり売り出す。
- 商品券第3弾を検討していただけると嬉しく思います。
- 大芝高原の駐車場及びトイレの増設。
- 企業誘致等税収を確保し負担軽減を望みます。
- 南箕輪村は良い村です。作ること変えることが全て良いわけではなく、守ること維持することも重要。南箕輪らしいもののPR。自然の素晴らしさも財産です。
- もっと気軽に楽しめるレジャー施設、購買(食品、衣料等)施設、医療施設など一体となったものがないか。また、これだけ減反政策が進み荒れ地になった土地がある中、対応策が考えられないのか不満であり不安。
- 大型商業施設の撤退は痛手。施設誘致の見込みはあるのか。
- 大芝高原をPR。
- 高齢化が進み、それに伴い遊休農地が増加していく。都会には田舎暮らしを希望しているものがたくさんいると思われる。セカンドハウスを積極的に誘致し、農業指導をし休耕地対策及び村の活性化を推進するため村が土地の購入・斡旋をする。
- 耕作放棄地を含む遊休農地をみるのは辛いものです。宮田村の宮田方式など村民全体で考えれば良い案が生まれるのではないかと。
- 企業誘致も必要ですが、村自体で村税以外の収入方策が必要と思います。
- この村に来て数カ月ですが、自然の豊かさ、ここならではの特産品などに触れるたびに幸せを感じます。あたりまえのものこそ子どもたちへ引き継がれていくべきものだと感じます。
- 企業誘致を全面的に優先していく。スーパーマーケット等の撤退は過疎化の前兆だといわれる。工業地域と居住地域を明確化し住みよい土地づくり。
- 住みにくいとは感じていないが、買い物も食事も遊びも全て周辺地域で行う生活です。大芝高原はあるものの特色もあまりなく興味がありません。他の地域から集まるような何かが必要だと思えます。
- 農地を宅地にあまり変えないでほしい。将来の食糧不足が心配。
- 大芝グラウンドを総合スポーツ地域として人工芝グラウンドを設けて、一年通じて合宿や地元スポーツで利用できるようにする。
- 若者と老人の共存できる場所(飲食場所等)、元気で活発なむらづくり、都心や県外から帰省した時に安心できる村等を希望します。
- 住みよい村と思っています。ただ、新しい家が建てられることで農地が減っていき食糧はどうなるのか心配。中には農業に経験のない人がやりたいというもあるはず。そういった人たちに農地を貸すとか売るとかで利用されたいと思います。
- 企業誘致をしてほしい。
- 冬のレジャースポットにスケートのできる施設を造る。
- 村の良い所を伸ばし、この村ならではのイベントや特産物をアピールしながら人が集まる村にしていければ良いと思う。
- 子どもと老人の福祉も大切ですが、労働者が村内でしっかり働ける場を作ってほしい。人口流出は避けたい。
- 高齢家族となり土地活用ができない様な時、農業を行いたい人に代わってやってもらえるような方法の検討。

- 村の将来のため産業立地を進め、次世代の子どもたちの生活安定を確保すべき。
- 高速道路との関わりをつくるのがこれからの村づくり一つになる。例えば、スマートI・Cと新たなコミュニティのモデルを作ったらどうか。
- スポーツができる施設を造ってほしい。
- 村に飲食店がもっとあっても良いと思う。
- 友人に「南箕輪は健全だよな」と言われます。不便な半面、繁華街がないのが逆にいいかもしれない。
- 伊那市の人口が減り、南箕輪が増えてきたのは企業誘致が大きかったと言えます。また、箕輪町での大型店誘致は町の活性化を証明するものと言えます。村では大型店誘致をすることにより若年層離れを防ぐことができるのではないかと思いますし、医療費の無料化等今まで行ってきたことも引き続き実施していくことが住みよい村づくりになると考えます。
- 大芝高原を県内外にもっとアピールして大勢の人に利用してもらうとともに、村内の特産物販売拡大ができればと思います。
- 二世帯、三世帯同居でも昼間仕事や学校で高齢者が一人になってしまう家庭が多いため、その人たちが集える環境(徒歩で行ける距離で)がほしい。
- イルミネーションの時期をもう少し早めてもらうと子供たちが増え更々にぎやかになると思う。
- 箱物をつくる時は慎重をお願いします。仮に道の駅を作るには交通量が少なすぎます。
- 国道にあった商業、流通業の店が他市町へ転出してしまったが、人口が増加している状態で今後の問題となる。(このことが原因で人口減になるのでは)
- 大芝公園内の駐車場は廃止し植林。駐車場は大型農道東の畑へ設置。(畑の作り手がなく困っている。)
- 村の発展のためには更に工業の誘致や商店街の誘致充実は焦眉の急かと思えます。更に大芝を中心とした運動娯楽施設の充実等。
- 権兵衛トンネル開通で南原あたりに道の駅ができましたら最高と思う。
- 安易に集客施設を造らないで。
- 大芝の湯はずっと500円でやってほしい。大芝荘については宿泊を目的としているので木曜休みとか休日をとるのは良くない。都会から来る人の身になってください。(4時チェックインは3時にしなければだめ)
- 大芝公園の冬の利用者激減に、スケートリンクなど冬のスポーツ施設の活用はどうか。
- 商業の中心地が村にはない。インター付近の商業化を進め、伊那市に客を取られない対策が必要。(書店、ホームセンター、電気店など)
- 村の政策は商工業にはあまり期待をしていない政策の気がします。農業、福祉に手厚すぎる感じがします。この先100年南箕輪村は大丈夫でしょうか。他市町村との合併も視野に入れることが必要ではないでしょうか。
- 農業従事者の高齢化から農地の耕作放棄が目立ちます。障がいのある方(特に知的障害)の雇用促進として農業法人などを考えてはどうか。また、若い年代の方のIターンとして農地、住宅の補助を考えていただきたい。
- グランセローズキャンプ地、大芝高原まつりをはじめイベントの継続化により認知度を上げ地域の活性化を図る。
- 不況対策